

# 南部新一書簡リスト

一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団

名前	肩書・所属	書簡の日付	封書数	葉書数	内容の概要
愛川 潔	朝日新聞大阪本社社史編修室	昭和52年5月～8月	3	0	久保田小塊の情報と資料を送付／辻村又男(秋峰)に関する記事のコピー送付／『鬼車』恵送のお礼。辻村又男略歴のコピー送付。
相原 法則	編集者(ポプラ社、河出書房新社、偕成社)、歌人	昭和31年1月～59年1月	1	31	『群是生絲四十年史』を探している。／和紙の製法について書かれた本を教えてほしい。／ポプラ社を辞めて、河出書房新社で編集の仕事をするようになった。／偕成社に転職した。／巖谷小波文芸賞特別賞受章のお祝い／本礼状(巖谷小波復刻版ほか)／本の送付状／旅の便り／年賀状／喪中欠礼
浅野 歳郎	劇作家、演劇教育家(アサノ児童劇学校)	大正14年12月～昭和12年1月	1	3	赤穂奇談「狐武士」を書いたので読んでほしい。／夏に送った歴史小説「湖上の血煙り」を買ってもらえないか。／「演劇改造」の編集を手伝うことになった。／年賀状
浅野 宏明	アサノグラフィックプロダクション	昭和33年10月～59年1月	3	10	就職の件でご心配をおかけして申し訳ない。／本のお礼／仕事の近況報告／転居通知／年賀状／暑中見舞い
浅場 慶夫	全国童話人協会事務局	昭和45年9月	0	1	『鬼車』恵送のお礼
蘆谷 芦村(本名:重常)	童話作家(童話研究者日本童話協会)	大正13年2月～昭和12年1月	1	4	巖谷小波還暦祝賀大会の案内状／逍遙先生の双柿舎を訪ねた旅の便り／年賀状
阿武 天風	作家(博文館)	大正7年1月～12月	1	1	赴任挨拶状／年賀状
安倍 季雄 関連	安倍季雄:編集者(時事新報社)、児童文学作家、口演童話家	昭和31年1月～38年2月	1	3	『巖谷小波集』『本の水産増殖』恵送のお礼／死亡通知／安倍季雄先生四十九日の会の案内状
阿部 芳治	博文館営業部、帝国生命保険株式会社営業課	大正7年1月～昭和13年1月	14	19	雑誌への感想／博文館との関係について／知り合いの近況／病氣見舞いと近況報告／『ほしかげ』送付状／『チョコレート太郎』のお礼／「少年少女絵物語」のお礼と感想／父逝去の通知／『読書についての断想』送付状／会食の誘い／『鬼車』のお礼／年賀状／喪中葉書／暑中見舞い／旅の便り
尼子 揆一	編集者・取締役(北隆館)	昭和12年1月～26年5月	0	3	小学館編集部長の加賀美さんが構想を伺いたいそうなので、訪ねてほしい。／年賀状
天野 利勝	博文館出版部	大正11年8月(もう1通は不明)	0	2	転居通知／残暑見舞い

名前	肩書・所属	書簡の日付	封書数	葉書数	内容の概要
有馬 敬助	大阪商船、鹿児島銀行	明治45年1月～昭和45年11月	14	24	試験が終わったら来給え。西川さんによろしく。／入院のお見舞い／博文館に入って、志望どおり文筆によって東京の文学の本場に立ったことは喜ばしい。「女学世界」の訪問記事を書いた時にはたびたび訪れて、巖谷さんなどに会ったことが懐かしい。／文壇を去って会社員になったことを後悔している。／青蘭社出版部を創始された由、成功を祈る。／サイゴンからの便り／雑誌恵送のお礼／「子供ライブラリー」恵送のお礼と病状の報告／「人間医学」恵送のお礼／病気お見舞い／近況報告／上京したので会いたい。／年賀状
有本 芳水	歌人、詩人、編集者(実業之日本社「日本少年」編集局)	大正6年1月	0	1	年賀状
アン・ヘリング	児童文化研究者(法政大学)	昭和46年7月～60年7月	12	18	講演の招待／電話番号のお知らせ。／夢二展招待券の送付状／渋沢先生の本のお礼。アサー・ミー先生略伝のコピー同封。／日本児童文学学会での講演の案内／古書について／日本古書通掲載のコピー送付／オズボーンとリリアン・スミスコレクション友の会のメンバーカード送付状／アメリカからの便り／年賀状／残暑お見舞い／お誕生日のお祝い
飯尾 俊子	編集者(文化出版局季刊「銀河」編集部)	昭和51年11月～52年8月	4	0	中西屋の本を見せていただきたい。／企画編集協力のお礼／中西屋の本の借用のお礼
飯塚 鈴次	画家	昭和2年6月	1	0	近日中の宮崎氏の挿画を持参する。
生田 葵(別号:葵山)	作家(木曜会)、劇作家	昭和2年2月～3年4月	3	2	帝劇オペラ「椿姫」のチケットの送付状／脚本「鳩の使い」掲載のお願い／原稿を受付に渡した。
生田 蝶介(本名:調介)／友也	蝶介:作家、編集者(博文館)、歌人(我妹社)／友也:息子、歌人(我妹社)	大正8年10月～昭和57年3月	4	7	読売新聞の記事について／「主婦之友」への創作について／旅の便り／博文館の思い出／雑誌「我妹」の送付／『回想の博文館』恵送のお礼／父蝶介の香典返し送り状(友也)／父蝶介の関連本を紹介してくれたお礼／年賀状
池川 修三	編集者(博文館)	大正4年12月～8年1月	19	15	帰郷の報告／肺結核の病状の報告。博文館時代の思い出／自分の後任問題について／梅田駅での巖谷先生、沼田氏との再会。／原稿送付／南部の処女小説「銀煙管」の感想／博文館の改革に際する葛原君からの手紙の報告／香料のお
池島 信平	編集者・社長(文芸春秋)	昭和45年9月	0	1	『鬼車』恵送のお礼
池田 宣政	作家	昭和53年4月	0	1	息子夫婦がお目にかかったとの由、なつかしく思う。

# 南部新一書簡リスト

一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団

名前	肩書・所属	書簡の日付	封書数	葉書数	内容の概要
池田 文痴菴(本名:信一)	大衆文化収集家・研究者(池田文化史研究所)、森永製菓、東京高等製菓学校	昭和11年1月～47年11月	27	35	森永製菓社長の日独伊親善図画の記念牌作成の挨拶状と森永乾パンの広告を送付／「明治三珍報」を送付／本恵送のお礼／写真送付／「鯛まる通心」を送付／戦争記念日に思うこと／漢詩／見舞いのお礼／妻の思い出をまとめた私家版を送付／東京高等製菓学校校長就任の挨拶状／キレの本について／「少年世界」の感想／「少年」は慶応図書館にあるのではないか。／近況報告／旅の便り／年賀状／暑中見舞い
池田 林儀	編集者(大日本雄弁会講談社)、新聞記者(報知新聞)	昭和2年12月	1	0	原稿送付。「少女世界」に間に合うようなら使ってほしい。転居のお知らせ
石井 研堂	編集者(学齢館「小国民」編集)、作家、風俗研究家	(年不明)10月	0	1	原稿と写真を投函したが、写真は使用後は返却してほしい。今後は約束により1月分だけ書く。
石井 庄司	国語教育研究者(東京教育大学)	昭和36年6月	0	1	弥吉菅一氏の著書『児童文学—物語を中心に—』を紹介
石井 滴水	画家	昭和13年1月～昭和15年4月	1	2	吉良の屋敷について。門の絵入り／下絵を送付した。／年賀状
石井 朋昌	画家	昭和2年11月	0	1	「少女世界」と手紙を拝受。ご依頼の絵は承知した。
石川 武美	編集者・社長(主婦之友社)	昭和7年2月～35年1月	7	113	附録絵本の案を見せていただきたい。／学習雑誌の企画を拝受したが、当社には余裕がなくて残念だ。／見せていただいた本をお返した。／新館落成記念の品を送付した。／『わが愛する生活』を送付する。／「主婦之友」創刊25周年記念の品を送付した。／大倉邦彦氏の感想録は結構なものと思った。／中島菊夫夫人の入選を知って喜んでいる。／本恵送のお礼／年賀状
石川 雅章	作家、編集者(日本童話協会雑誌編集)	昭和31年7月～48年1月	1	10	生田葵氏の写真をお持ちか。氏の出身校やご遺族についても知りたい。／『ドクトルかんさい大冒険旅行』の出版記念会の発起人に加わってほしい。／「童話研究」の50周年記念号を出すので、創刊者の芦谷先生について書いてほしい。／『鬼車』ほかの本恵送のお礼／転居通知／年賀状
石川 光男	児童文学作家、編集者	昭和45年4月～10月	0	2	再録にふさわしい小波先生の作品が入った本と先生のお写真をお借りしたい。解説の原稿もお願いしたい。／『鬼車』恵送のお礼
石黒 露雄	編集者(博文館)、作家	大正8年2月～昭和2年4月	4	5	原稿の送付／雑誌や選料の督促／原稿の斡旋／懇談の誘い／年末年始の挨拶／旅の便り／病状報告／ストックの宮尾君の原稿について／竹久夢二との口絵についての相談の報告／南部の弟へのお悔やみ
石塚 吉祐	編集者(東京社)	大正7年1月～9年1月	0	3	年賀状
石浜 金作	作家	昭和2年8月	0	1	拙稿が難しすぎるということなので、代わりに作品を執筆する。

名前	肩書・所属	書簡の日付	封書数	葉書数	内容の概要
石丸 梧平	作家、評論家(「人生創造」創刊)	昭和2年2月～39年8月	4	1	友人の大月氏を紹介する。今度少女小説を書くから、少女世界に紹介してほしいと言っている。／最近ほかの雑誌には書いていないが、2枚の「感想」だけ書かせてもらう。／原稿送付状。「人生創造の哲学」の一部をなるべくやさしく書いた。／昔書いた長編小説「京の夢、初恋」は「人生創造」に連載した。／明治38年ごろに大隈邸の庭園で写した大阪府立茨木中学校出身者の記念写真のお礼状。
石本 清夫	日本経済新聞社	昭和47年4月	1	0	石本正三の三男だが、先日父から新井様の出版の計画について便りがあった。お目にかかっご相談したい。
泉 斜汀	作家、泉鏡花の弟	大正15年4月	1	0	濱田さんに原稿を預けたので、読んで欲しい。
磯崎 嘉治	岩本善治・若松賤子研究者(巖本記念会)	昭和33年11月～61年2月	75	144	巖本記念青少年文化会館をつくる足がかりができた。／善治・賤子ほか女学雑誌関係の展覧会開催のお知らせ／児童文学について教示願いたい。／「少年世界」拝借のお礼／「巖本」「連環探訪」「巖本通信」ほかの送付状／原稿依頼／巖本善治関係の資料紹介のお礼／巖本記念会のお知らせ／巖本記念会会員名簿／巖本善治三十三回忌記念の会案内／秋田雨雀関係資料送付／仕事の近況報告／雑誌・本拝受のお礼／履歴書・学歴・職歴／年賀状
一谷 清昭	教員、訓練所教官(中央師道訓練所)	昭和15年9月～16年11	1	2	新京南嶺の中央師道研究所に転勤になった。掛図の利用法など関連が多い所なので、今後ともよろしく。／モデルは手配済み／写真配置図にある以外の文字は入れないで、図解原稿中に文字を入れてほしい。
伊藤 幾久造	画家	昭和11年1月～12年1月	0	2	年賀状
伊東 拳位	口演童話家、民話研究者	昭和45年9月～48年1月	0	5	『鬼車』拝受のお礼／内山正憲君へのお祝いについて／年賀状
伊藤 銀月	作家、評論家	大正15年11月	2	3	「実録忍術者列伝」の原稿送付状／「日本忍術者列伝」について／原稿遅延のお詫びと今後の執筆予定／挿絵の件のお礼
伊藤 孝之	画家	昭和48年8月～50年1月	3	3	甥から返送された手紙を拝見して驚いて、なつかしかった。目下創作画人協会の委員として日本画家として絵を描いている。林唯一、本田庄太郎の消息。／「人間医学」拝受のお礼／創展の案内状／年賀状
伊藤 孝	画家	大正10年7月～昭和2年10月	0	4	「幼年画報」の稿料拝受のお礼／浜松に帰京中。上京予定の連絡
伊藤 彦造	画家	大正14年11月	1	0	挿絵の仕事について
いとしき泣きぼくろの会	サトウハチロー抒情詩集刊行を祝う会	昭和2年12月	0	1	サトウハチローの『抒情詩集いとしき泣きぼくろ』刊行のお祝い会案内状

# 南部新一書簡リスト

一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団

名前	肩書・所属	書簡の日付	封書数	葉書数	内容の概要
稲生 平八	実業家(森永製菓取締役副社長、同会長、森永乳業)	昭和11年1月～59年3月	3	6	年賀状／祖母告別式参列のお礼／喪中葉書／お見舞いのお礼／『鬼車』恵送のお礼／資料拝受のお礼／病気お見舞い
井上 猛夫	画家	昭和2年11月～5年9月	1	1	喫茶店開業のお知らせ／「少女世界」には早く画いて送るので、沼田氏に伝えてほしい。
井伏 鱒二	作家	大正15年2月	0	1	出版できる新しい原稿はないが、後日ならできる。
井部 正	口演童話家	昭和35年2月～50年4月	5	2	松美佐雄先生金婚祝賀記念品代募集／同報告／松美佐雄先生金婚祝賀童話会と祝宴のテープを聴く会の案内／松美佐雄童話碑建設発起人のお願い／ご照会の松美佐雄さんの資料は手元にはない。
山田 邦子 (本名:今井 邦子)	歌人	昭和1年12月～3年1月	10	2	「おもひでの記」の挿絵を描いた本田庄太郎氏は妹を知らないはずなのに、少女の顔が妹にそっくりで驚いた。／送った原稿「おひたちの記」が今月号に載っていませんでしたので、どうなったのか案じている。／画の都合で1回遅れることがわかって安心した。／ご依頼の「少女世界」の原稿は来月より送れるように今から心がけておく。／「少女世界」の原稿の送付状／「少女世界」の感想／年賀状
今井田 勲	編集者(主婦之友社、文化出版局)、豆本蒐集家	昭和51年4月～61年2月	1	5	『私の稀観本』出版記念会参加のお礼状／『雑誌記者五十年』恵送のお礼／年賀状
今関 甫召	画家	大正5年1月～11年12月	0	14	絵の原稿を届ける予定連絡／博文館創業35周年記念扇子のお礼／本拝受のお礼／年賀状
今西 吉雄	作家、早稲田大学、報知新聞編輯局、東京中央放送局	大正7年10月～昭和10年1月	4	3	「文芸」「女学」の原稿は来月中旬までには送る。／4月号の「子供芝居」の原稿は30日までには送る。／原稿送付状／特派員として富士参りをした。／本拝受のお礼と感想／年賀状
井元 水明	漫画家	昭和7年9月～8年1月	2	2	「主婦之友」10月号と稿料のお礼。11月号の原稿は只今画いているところ。／構想と色の点でかなり無理があるが、次の機会にぐっと面白い漫画を工夫して画いてみたい。／絵の寸法が変わった由、早速画き変えて21日午前中に届ける。／年
岩井 信実	童話作家、詩人、耳鼻咽喉科医師	大正14年5月昭和2年7月	3	1	大阪在住の抒情画・童画家の高橋春佳氏をよろしく願います。／「少女世界」拝受のお礼(妻代筆)
岩崎 純孝	イタリア文学研究者、翻訳家	昭和15年5月～16年1月	0	2	打ち合わせの日程連絡
岩下 小葉	編集者(実業之日本社)、翻訳家、作家	大正7年1月～15年4月	0	6	暑中見舞い。『幼年の友』の編輯から『少女の友』の編輯に移った。／翻訳作品を掲載できないかと依頼されたが、掲載する余地が無いので返送した。／年賀状
岩田 専太郎	画家	昭和3年2月	1	0	「少年世界」の表紙画について

名前	肩書・所属	書簡の日付	封書数	葉書数	内容の概要
巖谷 栄二	巖谷小波次男、児童文学研究者、森村学園女子部	昭和17年11月～43年11月	19	65	小波会の日程連絡等
巖谷 国土	小波の次男巖谷栄二の長男、仏文学者、評論家	昭和45年1月	1	0	栄二死去に際し弔辞供物のお礼
巖谷 小波	作家、編集者(博文館)、口演童話家、俳人	大正4年1月～昭和8年8月	57	98	地方での口演や子供会の状況報告／予定の連絡／旅の便り／原稿の遅れのお詫びと送付予定連絡／原稿送付状／校正を送ってほしい。／校正の送り状／「百話」の紙質、箱、表紙についての意見／博文館創業三十周年記念少女世界・少年世界愛読者大会開催の案内状とプログラム／千里閣開館の挨拶状／口碑大全を改良したい。／「世界お伽噺」お祝いの会食について／一時には抜擢は難しいと思われる。君から助手は不要と長谷川君に伝えるべきだ。／4月号の画案を忘れてしまったので、知らせてほしい。／広告原稿、新聞批評を出してあるが、どうなっているのか。／「幼年画報」「少年世界」の下案・画案の送付状／「文庫」の目次案を送付／自家出版を黒田君に手伝ってもらっている。／雑誌の印税の件は社長に直談致し、新契約交換の運びとなった。／国母陛下下賜品がうれしいが、川柳ではなく、お伽噺だったらいっそう感奮するだろう。／アルス社と博文館との出版問題の経過報告。館側の意向を調べて、教えてくれないか。／博文館側と話をしたが、強硬手段に出ると言っている。アルス側も対抗手段をとって、差し押さえるで受けた損害の報復をするほかないという。その覚悟は要ることになった。／平太郎を口演するので資料を整えてほしい。／例の件で星野氏から少しあったが、こちら覚悟している。／森永の方はすまなかった。三越の方も今日やっとすませた。／広島県西條市で腸閉塞を発病し、手術後6週間を経て退院し、東京の自宅に戻った。／年賀状／暑中見舞い／転居通知
巖谷 小波 関連	巖谷小波：作家、編集者、口演童話家、俳人	大正10年12月～昭和45年5月	1	6	山村清太郎告別式のお知らせ／小波会のお知らせ／小波忌の案内／巖谷小波生誕百年祭準備委員会開催の案内／小波福雄武彦生誕百年記念パーティの案内
巖谷 貞子	巖谷栄二夫人	昭和43年10月～61年6月	6	18	オットーの本ほかの写真と同封する。引き延ばしに適用していない場合は撮り直すので、言ってほしい。／問い合わせの小波の日記についての回答／内山氏の葬儀に参列した。略歴と式次第を同封。
巖谷 榎一(本名：三一)	巖谷小波長男、劇作家、演出家	昭和8年9月～50年12月	5	14	小波の逝去・告別式の通知／告別式参列のお礼／弔問供物のお礼
巖谷 大四	巖谷小波四男、文芸評論家	昭和43年6月～60年4月	1	4	『回想の博文館』恵送のお礼
巖谷 ゆう	巖谷小波夫人	昭和8年7月	1	0	お見舞いのお礼

# 南部新一書簡リスト

一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団

名前	肩書・所属	書簡の日付	封書数	葉書数	内容の概要
上澤 謙二	作家	昭和15年5月～48年4月	3	5	雑誌「ひとつ星」の送付状／本拝受のお礼／赤ちゃんばなし「桃太郎」の原稿と送付状
内田 清之助	動物研究者(農商務省鳥獣調査室、東大講師)	昭和13年6月	1	2	原稿送付の期限の問い合わせ／原稿送付の連絡
内山 嘉吉	画家、美術教師(和光学園)、東京内山書店店主、内山完造(上海内山書店店主)の弟	昭和7年7月	1	1	兄内山完造の講演会の案内／暑中見舞い
内山 憲尚	口演童話家、幼児教育者(精美幼稚園園長)、児童文化研究者	昭和30年1月～59年9月	19	74	松美氏の会の報告とお礼／『獅子の病気』の原典は本生経(ジャータカ)ではないか。／「童話研究」6月号に掲載した小波先生俳画の写真を送る。／小波の住居跡の碑建立に賛成、筆塚も建立したい。／小波顕彰碑の案内を発送した。／小波碑の掃除の相談／文福茶釜の小波の句碑建立の尽力に対するお礼／「日本口演童話史」の巖谷小波編を執筆中だが、小波先生が博文館をお引きになった年などについて教えてほしい。／ヨーロッパ・ソ連の児童文化・教育視察の報告／『回想の博文館』や雑誌恵送のお礼／「話す童話全国協議会」の協力御礼／日本童話協会総会の案内／永楽君が「大語園」揃いで譲ってもよいと言っている。／山内秋生告別式の通知状同封／聖美幼稚園創立五十年記念祝賀会の案内状／暑中見舞い／残暑見舞い／年賀状／寒中見舞い
海野 梨葉	作家、編集者	昭和2年4月～5月	2	0	原稿送付について
梅田 民衛	博文館、大橋家本邸勤務	昭和47年5月～48年3月	2	0	博文館関係者との交流の現状／梅田民衛逝去通知(嗣子暢夫)
江南 史朗(本名:兼吉)	博文館、版画家	昭和11年1月～59年1月	16	17	画料についての回答／小波の日記の解説依頼。「幼年画報」「譚海」の発行部数。／博文館の見取り図／『回想の博文館』ほかの恵送お礼／石版の技法についての回答／錦絵の金銀刷りについて／巖谷小波没後50年追悼記念講演会の新聞記事／博友社の社長の交代／原稿送付状／古書店目録のお礼／年賀状
江見 水蔭	編集者(博文館)、作家	大正15年7月～9月	2	3	原稿「荒武者荒入道」について／「少年世界」への「獅子城の勇士」採用依頼／原稿「水合戦」送付予定／友人の原稿の採用依頼
大井 冷光(本名:信勝)	童話作家、口演童話家、編集者	大正6年1月～7年1月	0	2	年賀状

# 南部新一書簡リスト

一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団

名前	肩書・所属	書簡の日付	封書数	葉書数	内容の概要
大浦 孝秋	医学関連記者(大和新聞、大阪毎日新聞、大阪時事新報、国民新聞社、主婦之友社)、雑誌発行者(人間医学社)	大正4年11月～昭和32年4月	87	244	小波先生の子供大会開催の件／上京したい／小説を拝見／大阪毎日が募集するお伽噺に投稿したい／大和新聞を辞して、大阪毎日新聞専属になった。／雑誌掲載の南部のお伽噺の批評や南部が編集した「幼年世界」「幼年画報」「少年世界」「少女世界」「譚海」等の雑誌の批評／宝塚少女歌劇をみて驚いた。／「少年世界」の材料に、船の写真フィルムを送った。／青蘭社の広告についての提案／絵本を定期附録にすれば強みになると思う。雑誌の感想など。／旅の便り／年賀状／暑中お見舞い
大木 雄二(本名: 雄三)	編集者、作家	昭和5年11月～12月	0	3	原稿を送った。／「譚海」への作品掲載のお礼と雑誌送付のお願い／「幼年世界」への作品掲載のお礼と稿料の送り先の連絡
大久保 久雄	書誌作成家(「博文館研究文献年表」編纂)、教員(神奈川大学、県立下関南高校、私立早蕨高校)	昭和50年6月～57年7月	3	6	「博文館研究文献年表」のための書誌作成のお礼／「広告界の今昔」コピー拝受の礼／「本の周辺」を発行所から別送する。／博文館におられた方に聞き書きして回っている。／二階堂氏の原稿「平林たい子氏と私」のコピー送付／年賀状
大倉 桃郎	作家	昭和2年10月	0	1	少女小説の題名通知
大崎 治郎	編集者(博文館)、松澤幼稚園	大正14年12月～昭和13年1月	3	4	雑誌の内容紙面作成等についての批評／面会日時と場所の相談／年賀状
太田 天洋	画家	昭和16年8月	1	0	香取先生のお手紙の件についての配慮のお礼
大妻 コタカ	女子教育者(大妻学院創設)	昭和2年10月～39年5月	1	4	「少女世界」寄贈のお礼／生徒が縫った浴衣を送ったので、お召いただければうれしい。／近況報告／勲三等宝冠章受章の祝辞のお礼状
川名 芳朗(本名: 大戸 喜一郎)	作家、編集者(コードモ社)、出版人(さかえ書房創業)	大正15年2月～昭和12年1月	1	10	原稿拝受のお礼／雑誌恵送のお礼／著書の送付状／年賀状
大橋 新太郎／進一	新太郎: 博文館社長、貴族院議員／進一: 長男、博文館社長	昭和7年1月～15年7月	2	6	大橋新太郎氏勅撰議員任命のお祝い会のお知らせ
大藤 幹夫	児童文学研究者(大阪教育大学)	昭和44年8月～58年9月	19	33	「こがね丸」について会って教えていただきたい。／お尋ねの「こがね丸」の版による異同の回答／久留島武彦文化賞受賞のお祝い／日本児童文学学会の案内／本や雑誌、抜き刷り恵送のお礼／「世界お伽噺」「小波お伽全集」などに関する質問／暑中見舞い／残暑見舞い／年賀状
大村 嘉代子	劇作家	昭和2年2月～4月	1	1	「少女世界」の原稿を送った。

# 南部新一書簡リスト

一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団

名前	肩書・所属	書簡の日付	封書数	葉書数	内容の概要
大山 毅	博文館、さくらそう 会・第一園芸株式 会社	昭和30年7月、34年6月	1	1	本恵送のお礼と感想／梶浦氏に原稿を依頼されたとのこと、承知いただければ立派なものができると思う。
岡野 栄	画家	大正8年1月～昭和3年1月	1	2	お問い合わせの件で、親交のありそうな同級生の氏名と住所をお知らせする。／年賀状／暑中見舞い
岡野 他家夫	書誌学者、司書 (東京帝大図書 館)	昭和54年12月	1	0	本恵送のお礼
岡本 一平	漫画家	大正9年1月～昭和3年1月	0	4	年賀状
岡本 忠成／川本 喜八郎	アニメーション作 家	昭和49年1月	0	1	年賀状
岡本 綺堂	劇作家、作家、劇 評家	大正11年1月～昭和3年1月	0	5	自作の「阿蘭陀船」を大村が芝居物語に書き直す件、承知した。／涼しくなったら何かご覧に入れたい。／年賀状
小笠原 寛三	画家	大正11年9月～昭和29年2月	0	4	転居通知／「主婦の友」の付録について
尾形 寧吉	教育者、口演童話 家	昭和31年3月～45年9月	0	2	『鬼車』恵送のお礼
小川 未明	作家	大正15年1月～昭和2年10月	0	4	本・雑誌のお礼／何か少女に対する感想を書いて送る。
荻生 天泉	画家	昭和13年5月	1	0	巖島写真の件について
奥野 しげる	口演童話家	(年不明)8月	1	0	老父から須古清のことを聞き出すのは難しい。須古清さんの子どもさんのお嫁さんをお願いした。(息子代筆)
大佛 次郎	作家	昭和12年2月～48年6月	3	1	引き受けられそうだが、出版企画の内容についてくわしく教えてほしい。
尾崎 甫	映画監督、大真空 教妙顕宗文教部、 亜光映画社専務 取締役	昭和45年8月～59年6月	5	10	問い合わせへの回答(御経巻、玉姫さまのことなど)／仕事の近況報告／本恵送のお礼／雑誌送付状／年賀状
尾崎 翠	作家	昭和2年5月～9月	4	0	前に送った原稿が不用ならば、必要ができたので返して欲しい。／原稿を送ったので、春の号に掲載して欲しい。／雑誌のお礼。友人の作った人形を送った。
小澤 淑	伊村錦之助(中西 屋支配人)の次女	昭和53年3月	2	1	「銀花」掲載の八木佐吉執筆「中西屋の本」を読んで、かつて父のことを問い合わせてくださった南部氏のことを思い出した。／隣の貸家に住んでいた太田三郎画伯の家族の思い出など。／ほるぷのカatalog拝受のお礼

名前	肩書・所属	書簡の日付	封書数	葉書数	内容の概要
尾関 岩二	作家、評論家	昭和2年12月～47年6月	1	1	大阪毎日新聞社を退職して、創作生活に入ったことと転居のお知らせ。／須古清について問い合わせの返事。彼は私と入れ違いで大毎に入り、「大毎コドモ」を出していた。童話作家協会に入ったのは、昭和6、7年ごろかと思う。大阪在住の奥野しげる氏が共に大毎で働いていたので、よく知っているかもしれない。
小野 慎一郎	博文社社長	昭和43年5月～58年1月	1	11	「農業世界」休刊のお知らせ／『回想の博文館』恵送のお礼／年賀状
小野 紋太郎	博文社、博文館営業部	昭和38年11月～59年1月	3	10	木村小舟さんの会の時の写真礼状／博文館の見取り図／大橋新太郎氏のことが載っていた記事送付／小波先生一家の記事送付／「幼年画報」「家庭エホン」の創刊と終刊について／『回想の博文館』恵送のお礼／年賀状
小野寺 秋風	漫画家	昭和2年11月～13年1月	0	3	承知した。／年賀状
尾張 穂草(本名: 真之介)	歌人、作家、編集者(大日本雄弁会講談社)	大正14年11月～昭和48年6月	26	48	原稿送付状／文章世界の会名簿の送付状／除幕式参列のお礼と雑誌「桜草」に掲載する原稿の依頼／原稿拝受のお礼／木村先生のご遺族を囲んでの思い出の会を開きたい。／「木村先生を偲ぶ会」のメンバーを「足跡」から拾ってリストを作成した。／『鬼車』ほか本・雑誌拝受のお礼／歌誌「潮光」創刊についての挨拶状／展示のために拝借した資料のお礼／近況報告／年末の挨拶／年賀状
海賀 変哲	作家、編集者(博文館)	大正7年1月～10年1月	0	4	原稿の送付と父親死去のための武田氏への代選依頼／年賀状
加賀見 忠作	小学館副社長	昭和30年6月～57年1月	14	25	最近の出版界について／ご教示頂いた科学誌についても企画中だ。／原色百科事典についてのご意見拝受のお礼／副社長を退任して顧問になった。／「鬼車」ほか本・雑誌恵送のお礼／近況報告／年賀状
柿内 宏文	編集者(学習研究社児童図書編集部、ポプラ社)	昭和43年1月～61年1月	9	15	本・雑誌・資料・コピーなどの送付状／退社の挨拶／年賀状
柿原 輝行	画家	昭和7年9月	1	0	主婦の友より通知があった。お礼申し上げる。
風間 四郎	画家	昭和39年9月～52年1月	3	6	本の礼状／年賀状
檉葉 勇	童話作家、教育者(白梅学園短期大学)	昭和44年4月～52年1月	3	11	原稿送付状／原稿の切の相談／「童話教育」について／ご入用の資料は大半はあるので、ご来駕いただきたい。／『鬼車』恵送のお礼／近況報告／年賀状／寒中見舞い
鹿島 花	鹿島鳴秋の妻	昭和36年7月～56年5月	6	54	鹿島鳴秋の経歴や著作に関する問い合わせに対する回答／鳴秋の墓や浜千鳥の碑について／鳴秋の写真送付状／年賀状／暑中見舞い

# 南部新一書簡リスト

一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団

名前	肩書・所属	書簡の日付	封書数	葉書数	内容の概要
鹿島 鳴秋(本名: 佐太郎)	童謡詩人、作家、編集者(小学新報社)	大正6年1月～昭和2年9月	0	6	協議の日程連絡／旅の便り／年賀状
片岡 鉄兵	作家	昭和2年1月～5月	0	2	長篇の材があるので書こうと思っている。紙面の都合がよければ貴誌に送りたい。／転居通知
片岡 敏郎	コピーライター	大正6年1月～昭和17年8月	3	9	森永製菓広告部退職の挨拶状／近況報告／年賀状
帷子 勝雄	編集者(博文館)、東京朝日新聞社	昭和2年1月～13年12月	8	11	詩の選の原稿を送付した。／巖谷先生から博文館のことをうかがったこと／塚本君が亡くなった。／冬を背景にした物語「子守唄」を春に書き変えたい。／年賀状
片山 鶴男	児童文学作家	昭和10年1月～昭和13年1月	0	5	年賀状／喪中欠礼／病気見舞い
加藤 謙一	編集者(大日本雄弁会講談社)	昭和45年9月～49年10月	2	4	『鬼車』恵送のお礼／講談社で山口将吉郎先生の画集を刊行する予定で、山口君がお話を拝聴しに参るので、よろしく願います。／年賀状
加藤 武雄	作家	昭和2年2月～3年2月	3	0	「少女世界」に長篇執筆承諾／「少女世界」連載の「めぐりあひ」はあと1回で完結。6月号からもっと長いものを書く予定。
加藤 まさを	画家、詩人、作家	昭和4年1月～47年1月	0	5	年賀状／暑中見舞い
加藤 将之	歌人	昭和31年1月～昭和49年6月	17	41	落合直文の古書や雑誌などを拝受、代金・送料を送る／落合直文の作品に関する問い合わせ／寺田喜治郎の住所問い合わせへの回答／『回想の博文館』恵送のお礼状／年賀状
金子 茂二	画家	大正10年5月16日	1	1	原稿を届ける予定の連絡
金島 桂華	画家	大正5年4月～大正12年1月	2	14	作品送付状／何か画きたいが、何月号に載るのかの問い合わせ／注文内容の確認／年賀状
樺島 勝一	画家	昭和15年2月～58年1月	5	24	樺島勝一画集の出版についての協力のお礼／「樺島勝一思い出のペン画展」開催協力のお礼／教えてもらった『正チャンの冒険』を篠崎書店から送ってもらった。／父の資料のコピー送付のお礼／問い合わせの織田信恒氏の連絡先の通知／近況報告／暑中見舞い／年賀状／転居通知
樺山 千代	作家	昭和2年1月～5年5月	4	3	編集方針も今までと違うと思うが、今後とも書かせていただきたい。／「四ツ葉のクローバー」を載せていただけたらうれしい。／前にお願ひした2篇は、お役に立たないのだろうか。／不用のものはお送りいただきたい。／年賀状
唐澤 富太郎	教育学者(東京教育大学)	昭和45年9月	0	1	『鬼車』恵送のお礼

## 南部新一書簡リスト

一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団

名前	肩書・所属	書簡の日付	封書数	葉書数	内容の概要
川上 四郎	童画家	昭和8年1月	1	0	年賀状
川上 澄生	版画家、詩人	昭和45年9月	0	1	『鬼車』恵送の礼状。子どもの頃の雑誌の思い出。
川口 松太郎	作家、劇作家、演出家	昭和2年3月～昭和45年11月	3	2	原稿を送った。／できる仕事があればさせてほしい／お言葉通り3回にまとめるが、後の2回は10日頃までに書き上げる。
川崎 大治	児童文学作家、紙芝居作家、児童文化活動家	昭和34年9月	0	1	出席する。
川路 柳虹	詩人、美術評論家	昭和2年2月	1	1	原稿送付状。掲載しないものは返却してほしい。
河田 泰弘	錦城学園高等学校教諭、千代田区青少年問題協議会委員	昭和54年1月～57年1月	3	1	平野機業所・羽二重の歴史をどのように調べればよいか教えてほしい。／大江町報のコピー送付／「日本児童演劇史ノート」の連載を終了／年賀状
神部 正次	博文館、櫻護謄株式会社	昭和11年1月	0	1	年賀状
岸田 国土	劇作家、作家、評論家、翻訳家	昭和2年1月～11月	1	4	×切を延期のお願い／いずれかを執筆する。／転居通知と在宅日の通知
岸辺 福雄	口演童話家、幼児教育者(東洋幼稚園園長)	昭和7年1月～33年10月	4	8	年賀状
北川 千代	作家	昭和2年6月～10月	1	4	「少女世界」には書かせていただきたいと思うが、十五六日頃までには書けそうもない。／正月号に十五六枚のものを書いて十五日頃までにお届けする。／予告に作品の題は未定としてほしい。
北村 寿夫	童話作家、劇作家、放送作家	昭和2年5月～3年1月	1	1	年賀状

名前	肩書・所属	書簡の日付	封書数	葉書数	内容の概要
木村 小舟	作家、編集者(博文館)	大正5年8月～昭和17年11月	25	17	伊蘇保物語の訂正を25日までに送ってほしい。／イソップ口絵は2枚必要／グリム童話の参考に星野久成氏のグリムお伽噺を送ってほしい。／「譚海」の創刊を喜んでいる。／「譚海」の原稿を書かせてもらった。長文の方は「幼年世界」の方がよいかもしれない。／依頼があった「幼年画報」が見つかったので、取りに来てほしい。／先般申し出があった絵雑誌の件を山添氏に相談した。／絵雑誌の権利譲渡に関して談合した結果について／根縫氏と交渉したところ、残りは20日以降にということだった。／青蘭社出版部宛に「幼女画報」「トモダチ」の返品先の問い合わせが届いている。／青蘭社解体は残念だった。／小波お伽全集を追加で三冊出版することになった。／『少年文学史明治編』出版記念会案内状／批評文をありがとう。続編も近日中に校正が出る予定。／心配をかけた件は解決した。「少女倶楽部」の新年計画を伝えたい。／貸出中の「少国民」合本を返送してほしい。／原稿送付状／年賀状／転居通知
木元 平太郎	画家	昭和8年1月～9年5月	0	3	不在のお詫び／雑誌恵送のお礼／年賀状
草川 信	作曲家、バイオリン奏者、音楽教育家(東京音楽学)	昭和2年6月	0	2	写真を取りに来てほしい。／原稿の送付予定の連絡
九条 武子	歌人、教育者	昭和2年3月	1	0	原稿送付状(封筒のみで本文はなし。封筒の表に「原稿」とある)
葛原 しげる	童謡詩人、教育者、編集者(博文館)	昭和3年6月～36年12月	5	13	「幼年世界」の原稿送付、掲載依頼／原稿返送依頼／童謡集「葦の笛」の送付状／旅の便り／博文館の旧知について／教職退職と東京転居通知／『石油の本』『巖谷小波集』ほか恵贈のお礼と感想／女屋氏の情報／編集した「小学生」の所蔵／葛原しげるご会葬御礼／年賀状
久保田 陽	編集者(ポプラ社)	昭和33年1月～56年12月	0	7	玉井徳太郎氏から南部氏に渡してくれと絵を預かっている。／「鬼車」恵送のお礼／年賀状
久保田 忠夫	編集者(ポプラ社)	昭和46年1月～59年10月	1	14	山口平八先生の未亡人に電話して「北武蔵における渡辺華山」を書庫で探してもらったが、見つからなかったとのこと。／山口先生の未亡人から昭和15年刊の非売品の「渡辺華山」の本が送られてきた。／ほるぷの本、恵送のお礼／年賀状
久山 美智子	編集者(ポプラ社、学研嘱託)	昭和46年12月	1	0	ポプラ社を離れて、学研の嘱託となり、垣内さんといっしょに児童図書の編集に励んでいる。
久留島 武彦	武彦:口演童話家、児童文学作家	昭和35年1月～42年6月	9	3	早蕨幼稚園の早蕨報の復刻送付／岳父久留島武彦逝去、葬儀のお知らせ(秀三郎)／武彦の著書で持っているもののリスト(同)／「陸軍一班」恵送のお礼(同)
黒田 湖山	作家、新聞記者	大正6年11月～15年2月	2	23	原稿の送付連絡／原稿を届ける予定の連絡／東京毎夕新聞社を退社し、『考へ所』を創起した。／満洲日日新聞社の編集を担当することになり、大連に来た。／年賀状

# 南部新一書簡リスト

一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団

名前	肩書・所属	書簡の日付	封書数	葉書数	内容の概要
黒田 竹弥	水産庁、青森県水産商工部、温水養魚開発協会	昭和29年5月～61年1月	25	32	執筆予定の連絡／水産試験場と養魚場の訂正原稿の送付／使用写真に関する意見／『日本の水産増殖』改訂に際して修正箇所のお知らせ／使用した写真の返却依頼／転勤の挨拶状／転居通知／『鬼車』恵送のお礼／年賀状
桑原 三郎	児童文学研究者、教育者（慶應義塾幼稚舎教諭）	昭和43年5月～59年9月	16	29	『鬼車』『巖本善治』『回想の博文館』などの恵送の礼状／ほるぶ復刻「三十年目書き直しこがね丸」の解説原稿を届けたので、ご高覧頂きたい。／「少年世界」掲載の南部さんの童話の感想／慶応幼稚舎所蔵の夢二の本、「少年世界」「少年」について／借用した本について／『諭吉小波未明』送付状／年賀状
桑山 太市	民俗芸能・民間伝承研究者	大正9年10月～昭和57年9月	2	54	「幼年世界」新年号に「猫の恩返し」掲載のお礼。／『鬼車』『回想の博文館』ほか恵送のお礼／写真恵送のお礼／「少年号」「少女号」のことはよくわからない。山手樹一郎氏、事務の井口長二氏に問い合わせたらわかると思う。／久留島武彦文化賞受賞のお祝い／吉川英治氏の思い出を週刊紙柏崎春秋に1、2枚書いて欲しい／鹿島鳴秋と「浜千鳥」に関する質問／長谷川天溪について／年賀状／暑中見舞い
幸田 成友	露伴の弟、歴史学者	(年月不明)	1	0	掛図の材料としてお探しのコロバス生家の写真は持っていない。
講談社文芸図書第二出版部		昭和42年8月～52年7月	3	1	京王百貨店での吉川英治展の案内／吉川英治全集へのご支援に感謝する。／吉川英治文庫・書簡集へのご支援に感謝する。／年賀状
小久保 桃江	桃太郎研究者（日本桃太郎の会会長）	昭和53年3月～61年1月	1	3	桃太郎の絵本等、関係資料問い合わせ／年賀状
小島 健三	作家	昭和2年4月～58年11月	5	26	『海賊船』を速達で送った。／「父を探しに」の玉稿と絵を至急送ってほしい。／打合せの日程連絡／雑誌・本・葉などの恵送のお礼。／年賀状
小島 政二郎	作家、随筆家、俳人	昭和45年5月～45年6月	0	2	雑誌恵送のお礼
小松原 健吉	編集者（博文館編集部）	大正11年1月～昭和9年9月	3	7	休職のお詫び。「幼年世界」の感想／「幼年世界」の表紙と口絵の問い合わせ／原稿と広告目次依頼／雑誌恵送のお礼／明治座や新富座の芝居の感想
小峰 広恵	出版人（小峰書店創業者）	昭和45年9月～51年1月	1	6	『鬼車』ほかの恵送のお礼／年賀状
五島 昌平	『みかんの花咲く丘』（唱歌と童謡画集）編集	昭和43年1月～56年12月	2	3	発送が遅れたお詫び／「雑誌の送付状／フランクフルトからの旅の便り」／年賀状と転居通知
後藤 勝	画家	昭和32年5月～57年6月	1	5	テストの絵はパスして、次の原稿が届いて仕事を始めている。／小学館の加賀見局長から図鑑や雑誌の絵の仕事をもらって、仕事を始めている。早く上京したい。／転居通知

名前	肩書・所属	書簡の日付	封書数	葉書数	内容の概要
坂本 猛猪	わかもと本舗栄養と育児の会、わかもと製菓、科学新聞社、春秋広告社	昭和11年12月～60年6月	21	74	依頼した原稿(石井滴水ほか)、富士山の写真の件などの報告。／大門会の報告／長岡規矩雄氏が児童出版社から出版したいというのであなたを紹介した。／三越の岡田氏、南氏のことなど／田中貢太郎氏遺族のもとに残っている書画整理に八木さんを紹介したことへの感謝／お尋ねの故佐藤勇助氏についての回答／関戸惣平さんからわかもと教育掛図の発行を開始した年月を聞かれた。いつからか。／本(鬼車ほか)・雑誌・栗などの恵送のお礼／知り合いの住所問い合わせへの回答／俳句／年賀状／暑中見舞い／近況報告
西条 八十	詩人、童謡詩人	昭和4年7月～12年1月	1	4	ご注文の体育奨励とミルクキャラメルをうまく結びつけるのに手こずった。／草稿を返送して欲しい。／年賀状／喪中欠礼
斎田 喬	児童劇作家	昭和11年7月～12年1月	0	2	パリからの旅の便り／年賀状
斎藤 五百枝	画家	昭和5年5月～12年1月	1	3	吉川英治先生のご母堂の肖像について／年賀状
斎藤 佐次郎	編集者・出版人(金の星社創業)、翻訳家	昭和58年1月～58年5月	2	1	金の船・金の星復刻に添付の解説書の執筆御礼と記念品の送付状／年賀状
斎藤 了一	「トナカイ村」連絡室	昭和38年10月～48年1月	3	3	「トナカイ村」次号企画に巖谷小波先生没後三十年記念行事を掲載するので、お話を伺いたい。／山内先生の玉稿と筆跡写真については貴意に添わせていただく。録音の整理については校閲を得たい。／年賀状
阪井 欽三	日本電気株式会社、日電バリアン株式会社	昭和28年12月～49年1月	2	8	大和新聞の吉田健山からの手紙などを送ってもらったお礼。博文館の大橋さんも父とは親交があった。『回想の博文館』を拝読した。／年賀状
坂井 宏志	編集者(ポプラ社編集部)	昭和56年9月	1	0	「青葉学園物語」の感想文と手紙を同封する。著者は従来の児童文学者とは違ってエンターテナーとしての資質にすぐれている。
阪口 利三郎	編集者(時事新報社「少女」編集部)	大正6年1月～8年8月	11	13	幼年小唄の原稿「春が来て」「山伏」「おくりもの」／小唄「流れ星」を送る。／号外遊びの唱歌についての問い合わせ回答／転宿通知／年賀状
坂西 志保	評論家、作家	昭和34年7月～37年(月不明)	0	3	本恵送のお礼
阪本 一郎	心理学者(青山師範学校教授)	昭和45年10月	0	1	『鬼車』恵送のお礼
阪本 牙城	漫画家	昭和3年1月	0	1	年賀状

# 南部新一書簡リスト

一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団

名前	肩書・所属	書簡の日付	封書数	葉書数	内容の概要
相良 俊輔	編集者、作家	昭和36年3月～54年11月	12	23	最近の原稿執筆について／少女向けに書いた動物小説を出版したい。／光人社から相良俊輔シリーズ10巻を出してくれることになった。／本恵送のお礼／資料送付のお礼／年賀状／転居通知／(遺族)相良俊輔の葬儀、七七忌法要に際する弔辞供物のお礼
相良 守峯	ドイツ文学者(東京大学教授)	昭和45年10月	0	1	『鬼車』恵送のお礼
崎山 正毅	評論家、翻訳家	昭和16年1月～16年4月	0	2	「ベニスの商人」を主婦の友社の今井さんに渡したが、ご覧いただけたか。／本の感想
桜井 忠温	陸軍軍人、随筆家	大正14年10月～15年4月	0	2	原稿は必ず書くが、明日から大演習に出るので11月に入る。
桜田 佐	フランス文学者(法政大学教授)	不明	1	0	世界名作家庭文庫に「風車小屋だより」から7、8編を選んで書く予定。
佐々木 直次郎	翻訳家	昭和15年5月	0	1	用件を伺いたいので、学校を訪ねてきて欲しい。
佐々木 味津三	作家	大正15年1月～昭和2年5月	0	3	依頼原稿の件は引き受ける。別の原稿も送るのでよろしく。／年賀状／転居通知
佐々木 林風	画家	大正6年1月～13年1月	1	3	「幼年画報」の挿絵について／年賀状
笹田 信三	編集者フレーベル館	昭和57年4月	1	0	キンダーブック復刻の小波文芸賞受賞のお祝いに対するお礼状
小波会／小波祭 仮事務所		昭和9年5月～昭和39年9月	3	4	小波祭案内／小波先生銅像建設計画／小波祭清算報告／小波会案内／小波先生の思い出の会(没後31年)案内
指方 龍二	日本児童雑誌編集者会	昭和40年9月～49年5月	1	7	児童雑誌の先輩編集者にお話を伺う会を持ちたい。／日本児童雑誌編集者会の会誌の送付状／年賀状／逝去のお知らせ(妻)
佐藤 紅緑	作家	昭和2年4月～5年9月	5	0	原稿の依頼をいただいたが、執筆に追われていて、お引き受けできないので、許して欲しい。／楠公よりも孔明を書きたい。／原稿の依頼を受けたが、10月頃からは都合がつきそうなので、それでよければ引き受ける。
佐藤 惣之助	詩人	昭和2年1月	2	0	先日お預けした少女小説はいかがか。少女小説1編と少年小説2篇の原稿を送付する。／福田正夫氏の紹介状を送る。少年詩と少女詩を送るので、掲載して欲しい
佐藤 一	編集者(ポプラ社、国土社)	昭和46年10月～61年1月	4	10	国土社編集部に勤めることになった。／近況報告／年賀状
サトウ ハチロー	詩人、作家	不明	1	0	以前話した活動のことを親友の藤本鷗谷君が承知してくれたので、紹介状を送る。原稿の送付状。
宍戸 都梨子	作家、国文学者、漫画家宍戸左行の妻	昭和2年6月	1	0	原稿2篇を御覧に入れる。いけない点をご教示願いたい。

# 南部新一書簡リスト

一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団

名前	肩書・所属	書簡の日付	封書数	葉書数	内容の概要
渋谷 光長	歌人	不明	1	0	原稿送付状
島崎 藤村	詩人、作家	大正14年9月	0	1	正月号の原稿は2月10日過ぎに執筆させていただきたい。
島田 啓三	漫画家	昭和11年1月	0	1	年賀状
清水 かつら	童謡詩人、編集者 (小学新報社)	昭和1年12月～12年1月	2	4	幼女物語の腹案ができたので、約束の日までに送る。「幼年画報」にまた童謡を載せてもらえないか。／布目さんについて／訪問の日程連絡／年賀状
清水 三重三	彫刻家、画家	昭和2年1月～11年10月	3	4	譚海の口絵は2、3日中に届ける。／近況報告／年賀状／喪中葉書
清水 良雄	画家、童画家	大正8年1月～11月	2	3	原稿送付状／絵が遅れていることのお詫び／風邪を引いて友人に描いてもらったが、出来が思わしくなく、自分で描き直したために遅れてすまない。
下位 春吉	口演童話家	不明	1	0	ムツソリーニの伝記を少年少女向けに執筆することを了解した。
霜尾 延孝	歌人	不明～昭和4年10月	2	1	京都に帰ろうと思いついたのは、農民文学を完成させるために京都で農民と交わって出発したいと思ったからだ。／上京してきて、時流を知った。都会文化の中で農民としていかなる役目を果たすべきかを考えている。／少年世界の編集に
下川 俊喜	青少年文化研究所	(年不明)5月	1	0	「青少年文化」に載せる原稿執筆と講演の依頼
下田 惟直	詩人、編集者	昭和2年3月～12月	1	3	石黒氏の時代から書いていたので、引き続き詩を書かせていただきたい。原稿を送付した。／「少女世界」送付のお礼
下村 亮一	経済往来社	昭和54年6月～59年10月	3	2	ご指摘の「幕直に進め」という表現についての回答／戦時中の言論統制についてなんとかまとめたと思いながら、なかなか筆が進まない。／近況報告／年賀状
週刊朝日		昭和7年1月	1	0	絵物語は目下連載中の「ターチヤン」が好評で、同じようなのを2つも載せられないので、そのうち推薦する。
首藤 政雄	博文館	大正8年1月	0	1	年賀状
主婦之友社		昭和7年1月～13年7月	18	4	広告料改定のお知らせ／大島さんが上京したと伝えてほしいという連絡があった。／「主婦之友日記」送付状／年賀状
小学新報社	アンダアゼン研究会幹事	昭和11年12月	0	1	アンダアゼン研究会の案内
「少年世界」編集部		昭和7年7月	1	0	「少年世界」は9月号より根本的に改革することになり、和歌は連載中止になったのであしからず了承いただきたい。
白井 喬二	作家	昭和40年10月～45年9月	2	3	『鬼車』恵送のお礼／住所表示変更のお知らせ

# 南部新一書簡リスト

一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団

名前	肩書・所属	書簡の日付	封書数	葉書数	内容の概要
城塚 朋和	吉川英治記念館	昭和51年4月～61年2月	4	2	『少年少女絵物語』恵送のお礼／「特急垂細垂」についてご教示いただき感謝している。／「戦国お千代舟」「初旅坊ちゃん」についての問い合わせ／年賀状
新潮社	室生犀星全集編集部	昭和40年3月～41年3月	1	1	室生犀星の書簡の拝借状／「唱歌室」発表年月日を知らせてもらったお礼
時事新報社		大正6年1月～昭和7年7月	1	1	「少年少女欄」の件は期待に添えるように努力する。／年賀状
十一谷義三郎	作家、翻訳家	昭和3年3月	1	1	「少年世界」の原稿を依頼されたが、参考のために最新号を送って欲しい。
城 しづか(別筆名:城 夏子)	作家	昭和2年12月	0	2	転居通知／滞在場所の連絡
城宝 栄作	作家	昭和36年11月～56年5月	2	3	電話で頼まれた横山・小島両先輩のものをお届けする。／小島さんのことは調べさせていただく。／転職通知
菅 忠雄	作家、編集者	昭和2年7月	0	1	原稿掲載のお礼
杉木 喬	アメリカ文学者 (巣鴨高等商業学校)	昭和15年5月	1	0	具体的な企画を伺いたいのでお越しいただきたい。
杉村 英一	投稿家	昭和39年9月	0	1	複写送付のお礼。昔の投稿仲間の岡田君等の思い出。
杉本 鶴一	毎日奈良支局特派員	昭和33年7月	0	1	上京するのでお目にかかりたい。
須古 清	関西毎夕新聞社・大阪毎日新聞社 童話班	昭和3年5月～17年5月	9	15	雑誌の送付のお礼／『小波お伽大全』を入手したが、大変よくできている。／芦谷芦村氏の近況と少国民文化協会のその後を教えてください。／小波氏の金色夜叉がお手元があれば見せていただきたい。／ご依頼の『黄金丸』が見つかったら送る。／『小波お伽文庫』は手元にない。／年賀状／暑中見舞い／旅の便り
須崎 邦武	作家	昭和5年12月	1	0	昔送った「日の昇る間」の原稿の所在をご存知か。手を入れて他の雑誌に掲載したい。
鈴木 五郎	一灯園、光泉林	昭和31年9月～50年4月	6	18	久留島文化賞受賞のお祝い／原稿を返送していただきたい。／近況報告
鈴木 朱雀	画家	昭和12年1月～13年1月	1	2	挿絵を評価してもらったお礼／年賀状
鈴木 敬信	東京学芸大学	昭和38年8月～44年4月	0	4	本の寄贈のお礼／退職の挨拶状

名前	肩書・所属	書簡の日付	封書数	葉書数	内容の概要
鈴木 敏夫	編集者(平凡社、ほるぷ出版)	昭和48年4月～52年1月	0	2	『回想の博文館』恵送のお礼／寒中見舞い
鈴木 彦次郎	作家	昭和2年5月～12月	2	1	少女小説「栄光に輝く」原稿掲載依頼／原稿を明日送る。
鈴木 松雄	編集者(講談社第一出版センター)	昭和46年7月～55年1月	2	4	椛島勝一ペン画集出版のために所蔵本を拝見させてほしい。／拝借本を返送した。刊行された本を寄贈する。／年賀状
鈴木 三重吉	作家、雑誌編集発行者	昭和2年8月	0	1	雑誌寄贈のお礼。転居のお知らせ。
鈴木 精一郎	画家、幼女の友社	昭和8年1月～53年4月	11	53	本の恵送のお礼／自らの経歴について／知り合いの画家の紹介／「幼女の友」、高橋五山氏、森田但山氏について／年賀状／暑中見舞い／喪中葉書／近況報告／転居通知
須藤 憲三	編集者(大日本雄弁会講談社)	昭和43年5月～49年8月	2	13	病気のお見舞いと大浦孝秋氏を紹介してくれたお礼／雑誌恵送のお礼／大浦孝秋伝を書いたらどうか。／年賀状／父憲三の死亡通知(須藤昭雄)
須藤 しげる	画家	昭和2年7月～11年1月	3	5	画料について／挿絵のできあがり予定の連絡／暑中見舞い／年賀状
砂川 星路	画家	大正14年11月	0	3	表紙絵を送った。口絵は少し遅れる。／画報の表紙絵は期日までにお届けする。／今月いっぱい上京するつもりだ。
関 英雄	作家、評論家	昭和39年10月～54年7月	4	37	「児童文学史展」と執筆中の『体験的児童文学史』のために、児童雑誌を拝見させていただきたい。／拝借する本が決定したら、毎日新聞社から南部さんに依頼する。／「近代日本の児童文化」の編集会議開催のお知らせ／『巖本善治』『鬼車』『三十年目書き直しこがね丸』ほか恵送のお礼／児童文学者協会に児童文学史研究会を設けて、作家・作品・ジャーナリズムについていろいろな人にインタビューする予定。小波と博文館については南部さんに伺う予定なのでよろしくお願いしたい。／「こどもの本この百年展」協力のお礼／「近代日本の児童文化」の南部さんの原稿「回想」を面白く拝読した。題名を「明治出版王国の肖像」として、1章の題名を「回想の博文館」とした。／年賀状
関口 一郎／民子	一郎:編集者(ポプラ社、世界文化社)、民子:編集者(ポプラ社)	昭和47年1月～61年1月	2	17	世界文化社に就職の挨拶状／『十二人の絵本作家たち』恵送のお礼。／近況報告／年賀状／暑中見舞い
瀬田 貞二	児童文学者	昭和49年9月～60年10月	2	19	雑誌を借りたお礼。『鬼車』ほかの恵送のお礼。／児童百科事典について。森銚三の古書通信の記事の感想／ヴェネチアからの旅の便り／「波の足音」の感想と竹貫佳水について教えてほしい。／水島あやめについての情報をありがとう。／森銚三の「思い出すことども」の感想／水島爾保布の本名についての問い合わせ／年賀状

# 南部新一書簡リスト

一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団

名前	肩書・所属	書簡の日付	封書数	葉書数	内容の概要
瀬戸 保太郎	新大阪新聞社長	昭和17年11月	1	0	判読不可
千地 芳朗	画家	大正11年12月～昭和3年9月	0	12	原稿が遅くなったことのお詫び。今夕持参する。／ポンチ画料拝受のお礼。次号のポンチを仕上げ持参する。／天草からの旅の便り／転居通知
高垣 眸	作家	昭和2年3月～58年6月	29	91	代表作全集の話があり、「幻の名作」の趣で、発表時の原形のままで上梓されるので完成を楽しみにしている。／アニメ「宇宙戦艦ヤマト」を小説化したので送る。／夏中「人類よなぜ急ぐ 破滅の道」(仮題)を執筆していて、ようやく最後の505枚目を書き終えた。／『鬼車』を一気に読んだ。／「黒頭巾」のテレビ化も本決まりだ。／旅の報告／仕事の報告／近況報告／体調報告／病気見舞い／年賀状／喪中欠礼
竹貫 佳水 親族	竹貫佳水:作家、 図書館人	昭和48年12月～50年12月	1	2	佳水に関する問い合わせへの回答／「竹貫河水小伝」が見つかったとのこと。拝見したい
竹貫 佳水	編集者(博文館)、 図書館人(竹貫少年図書館)	大正6年2月～11年7月	3	1	読売新聞にお伽噺を書く気がないか。／年賀状。昨年夏よりまた「少年世界」を担当することになった。
高野 正巳	国文学者	昭和45年12月	0	1	『鬼車』恵送のお礼
高橋 涉之介	画家	大正13年(?)11月～昭和13年1月	2	4	動物漫画の原画と書き変えたものを受付に渡した。／入隊した。来月には除隊するので、墓参りを済ませて帰宅する予定。／年賀状
高橋 春佳	画家、図案家	昭和2年12月	1	0	一生懸命勉強するので、画かせてほしい。
高畠 華宵	画家	昭和2年4月～12年1月	2	3	意見があれば遠慮なく言って欲しい。／忙しくて仕事を減らしているが、吉川氏の挿絵なら面白そうなので引き受けた。くれぐれも印刷に留意して欲しい。／年賀状
高森 栄次	編集者(博文館、 博友社)	昭和51年9月～57年9月	2	5	山手時代の「譚海」についての南部氏の質問への回答／高森氏の「譚海」に関する日記抄／借りた本の返却／「博文館終えん記」の原稿提出報告／年賀状
田河 水泡	漫画家	昭和7年1月～13年1月	1	2	漫画新聞社の領収書を送る。／年賀状
武井 武雄	童画家、版画家	昭和6年12月	0	1	森永絵本キャラメルの仕事について
武内 桂舟	画家	不明	0	1	年賀状

名前	肩書・所属	書簡の日付	封書数	葉書数	内容の概要
竹内 端夫	東京天文台	昭和38年5月～47年1月	3	10	『宇宙旅行』に使用した写真やパンフレットをお返しいただきたい。／『宇宙旅行』の再版の件だが、今いるところでは人工衛星に関する情報が入らず、お役にたてなくて申し訳ない。／再版に際して修正箇所の通知／アメリカでの天文台見学報告／喪中の挨拶／年賀状
武田 仰天子(本名: 頼)	作家	大正8年9月～13年1月	2	5	原稿の送付状／原稿を届ける予定連絡／活字の小さいのは困るので、なるべく15枚に書き上げたい。／年賀状
武田 桜桃	編集者(博文館)、作家、俳人	大正4年10月～昭和10年1月	17	15	熱は下がったが、もう一日静養したい。岡野君から巻頭挿絵が来たら、絵型をお願いする。／「幼年世界」の見本は明日になる。四月号から定価が12銭に上がることになった。／風邪のためもう一日休む。西村渚山氏に続編を督促してほしい。／もう一日欠勤する。小野と萬里子のお伽噺挿絵は、庄太郎に依頼してほしい。小波先生のお伽噺は、白帆は間に合わないと思うので、先生に原稿5枚程度お願いしてほしい。／昨夜新年会で親子丼を食べて食あたりした。今日一日欠勤する。／君の「銀煙管」はおもしろいが、結末が急いでいて、文章が少し生硬だ。必要なのはお金なので、森君に前借りを願うがよい。／岡埜氏の葬儀について／また倒れた。黒田氏に督促願いたい。／太閤記の絵形を田中に督促して、校正刷りが来たら、原稿用紙と帝国文庫の太閤記を送ってほしい。／悪魔探しの葉書を明日来るときに持ってきてほしい。／増大の儀、申請してもらいたい。予算的には容易に実現しないと思うが、貴君にまかせる。／小生の身上に関して、幹部の意見もいろいろあるが、「幼年世界」の編輯の件を長谷川氏に話しておいた。／今後について相談したいので、5日に見本ができたなら訪ねてきてほしい。／「朝鮮軍記」は8日までの約束で画家に注文してあるので安心してほしい。／第1回の分を脱稿したので送る。／太閤記続稿、ご注意にあずかり恐縮。参考書が届き次第執筆して、八幡に送り、八幡から貴君に送る段取りにした。／「譚海」と「幼年画報」、「幼年世界」とが入れ替わりになって、「幼年世界」は依然お手元でご編輯とうかがい、12月号の原稿を送った。来年も、小笠原氏と相談の上、「人形の冒険」という題で唱歌体で書きたい。「譚海」の方は「曾呂利」の物語にしようかと思っている。木村君が『仏像物語』を送ってくれたが、非常に美本で、博文館にはあの理想も実現できなかったかもしれない。／過日、京都に行って、報知京都支局の藤田氏とあなたのことを話していた。／「朝夷物語」の一「阿三丸誕生」を送った。挿絵は武者絵の上手な方をお願いしたい。／俳人の逸話など、2、3頁くださったら執筆するが、いかがか。原稿料はいらない。／「少年世界」の俳句の選句が終わったので送った。／13日に怪我をした。それでも例の件で裁判所に行ったが、しばらく自宅で書きたい。小波先生の絵組は勘一ではいかがか。／少年部に戻ったことはよかった。／旅の便り／原稿送付状／年賀状

# 南部新一書簡リスト

一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団

名前	肩書・所属	書簡の日付	封書数	葉書数	内容の概要
竹之内 静雄	筑摩書房	昭和45年9月	0	1	『鬼車』恵送のお礼
竹久 夢二	画家、詩人	大正12年6月	1	0	病気なのだが、18日までには画けると思う。
田々宮 英太郎	現代史家	昭和52年6月～56年1月	0	6	「史」6冊を送付した。入会していただければありがたい。／「史」次号に玉稿をお願いしたい。／原稿のメ切についての連絡／年賀状
橘 輝政	歴史家	昭和31年10月～11月	2	2	ポプラ社からの図書館宛問い合わせについて、現在調査中。／発電所の写真を同封する。
巽 聖歌	詩人、歌人、編集者	昭和12年1月～45年10月	1	2	本の恵送のお礼状。妻の野村千春の作品展案内状を同封。／年賀状
田中 宇一郎	作家、島崎藤村の弟子	昭和2年8月	0	1	原稿を送付した。
田中 寿太郎	画家	大正15年1月	1	0	林重義氏(二科会所属)の紹介
田中 比佐良	画家	昭和2年5月～5年9月	3	2	依頼の件はお引き受けするが、期日は延ばして欲しい。／拝眉の上で相談したいので拙宅にお越しいただきたい。／歌留多がようやくできたので、お届けする。／西郷画像の印刷を拝見した。「十五少年」は約束したので引き受けるが、他のものはただいま非常に忙しく、お許し願いたい。
田中 英夫	編集者(ポプラ社)	昭和34年1月～58年7月	0	4	複製絵本えばなし集解説のお礼。昔話や民話の大切さなど。／年賀状／喪中欠礼
谷 洗馬	画家	大正6年1月～5月	0	2	絵の説明。兜は鉄製で地味なので、子ども向きに赤色をつけ、形を多少変えた。／年賀状
田村 栄	編集者(誠文堂新光社「子供の科学」編集部)	昭和37年7月～38年9月	0	3	『星と宇宙』ほかを拝受した。「子供の科学」で紹介する。／『天文台・望遠鏡』を「天文年鑑」で紹介したいので送ってほしい。
田山 花袋	作家	大正14年9月～15年1月	0	3	「父親」が11月号に載るのなら、来年出版する短編集に入れたいので、校正ゲラを送ってほしい。／「少年時代 想ひ出」を送った。／年賀状
大日本雄弁会講談社少女倶楽部編輯局		昭和2年9月～11月	0	2	「少年世界」拝受の礼状
千地 琇也	画家	昭和29年1月～55年1月	1	4	自らの画歴について／500部限定版のため御意に添えなくて申し訳ない。／年賀状／寒中見舞い
都島 紫草	作家、口演童話家、名古屋市鶴舞中央図書館副館長	不明	0	1	名古屋の図書館長をしていた森川氏への問い合わせの回答

名前	肩書・所属	書簡の日付	封書数	葉書数	内容の概要
辻村 秋峯	画家	昭和52年7月～55年1月	7	2	「お伽絵解き子ども」と辻村秋峯(祖父)についての問い合わせ回答／「お伽絵解き子ども」に掲載された幼稚園の記事についての問い合わせへの回答／送ってもらった秋峯のコピーの年齢は間違っている。明治43年では39歳だ。筒井先生とは8歳違い。「こども」創刊号のコピーを同封する。／『絵本えばなし集解説』恵送のお礼／年賀状
土村 正義	画家	昭和55年8月～9月	2	1	テレビで姿を拝見してなつかしくなった。「少年世界」に画かせていただいてからも、モデルを描いたり、教科書や子どもの本の挿絵を画いたりして、忙しくしている。(妻の代筆)
続橋 達雄	児童文学研究者	昭和35年1月～58年3月	5	36	「ポチのお正月」は南部さんの作品か。「幼年世界」の編集に携わった期間はどのくらいか。／『回想の博文館』『龍虎八天狗』『鬼車』ほかの本・雑誌・目録・コピーなど恵送のお礼／書評・紀要の抜き刷りなどの送付状／年賀状／暑中見舞い／喪中欠礼／転居通知
坪谷 善四郎	編集者(博文館)、大橋図書館館長、作家、翻訳家	大正5年4月～昭和16年3月	2	15	大橋図書館の報告／早稲田大学人事嘱託の辞任／『小川未明選集』の寄贈礼状／旅の便り(熱海、台湾等)／就職斡旋依頼への断り状／「トモダチ」幼女画報」恵送の件／随筆回顧集の送付状と書画、詩歌、俳句の送付依頼／館主の衆議院議員立候補推薦状持参へのお礼／祝詞へのお礼状／健康回復のお祝い／年賀状
鶴岡 文夫	編集者(小学館「小学三年生」編集課)	不明	1	0	原稿依頼
寺崎 武男	画家	昭和12年1月～13年1月	0	2	ソクラテス・アリストテレスほかの画像に関する問い合わせ回答／年賀状
戸板 関子	三田高等女学校	昭和3年1月	1	0	「少女世界」の原稿と写真送付状
遠山 驟雨	柏崎春秋社	昭和37年9月	0	1	桑山太一氏を通じて、ご寄稿を拝受したお礼。吉川先生の死去は国民全体の嘆きだ。
戸川 安雄	戸川残花の孫	昭和45年9月～57年11月	3	6	『鬼車』『学苑』ほか恵送のお礼。／祖父戸川残花について／祖父の「撫子」が再び世に出る日が近いことはいはれしい。／近況報告
徳川 夢声	弁士、漫談家、作家、俳優	昭和45年9月	0	1	ご厚志へのお礼状
富田 常雄	作家	昭和1年12月	1	0	「少女世界」に初寄稿した原稿の確認
富田 博之	児童劇作家、児童文化研究者	昭和45年12月～59年1月	18	24	著作目録送付のお知らせ。お伽芝居の三好今太郎遺族訪問の報告。／資料・パンフレット・記事の切抜の恵送のお礼／貴重書籍拝借のお礼／『龍虎八天狗』『回想の博文館』ほか恵送のお礼／新聞コピーの送付状／『赤い鳥童話劇全集』ができたらお届けする。／東京子ども演劇資料館開設のお祝いのお礼と開館後の報告／年賀状

名前	肩書・所属	書簡の日付	封書数	葉書数	内容の概要
豊島 与志雄	翻訳家・作家	昭和11年1月	0	1	年賀状
鳥越 信	児童文学研究者 早稲田大学・大阪 国際児童文学館	昭和41年2月～58年12月	2	13	『出版研究』・木村小舟氏の資料展目録ほか恵送のお礼／村山至大のことをお教えいただき感謝／小波の画癖の件についてご教示くださり感謝／ほるぷの絵本復刻の原稿を書き上げた。小波と絵本のことをまとめたが、お気づき点をご教示願いたい。／年賀状
堂本 元次	画家、堂本印象の 長兄	昭和39年11月～44年8月	1	1	堀江純吉について調べたがわからない。
読者	「少年世界」ほか の読者	大正6年1月～12年10月	7	10	「幼年世界」はたいへんおもしろい。弟妹といっしょにきれいな絵を見て喜んでる。／「幼年画報」「幼年世界」の考え物の答え／「少女世界」の読者から、友だちが「投書欄と本欄が五十歩百歩になってしまった」と言って取るのをやめたのは残念。以前の先生方に作品や口絵を掲載してほしい。／「貝殻日記」が「少女世界」に役に立ってよかった。／「少年少女絵物語」の広告を送ってほしい。／「譚海」にも投書ができるようにしてほしい。／『日本の畜産』に載っている牧場の住所を教えてください。／『日本のガス』を読んで詳しく知りたいので日本瓦斯協会の所在地を教えてください。／『日本の石油』を読んだが、石油の取り方を図と絵で書いて送ってほしい。／『日本の自動車』に載っているステーションワゴンの説明図を送ってほしい。
中河 幹子	国文学者、歌人、 中河與一の妻	大正15年12月～昭和3年2月	3	2	2月号の唄を送る。／原稿を届ける予定連絡
中川 保三	わかもと広告部広 告社、三和広告社	昭和36年2月～56年7月	2	11	旧わかもと広告部関係者の集い案内状／写真送付／大門会の案内／年賀状／暑中見舞い
中河 与一	作家、歌人	大正14年10月～昭和2年7月	1	2	原稿送付状／喪中欠礼
中島 菊夫	漫画家、美術教育 者	昭和12年1月～34年9月	1	6	挿絵の進み具合の連絡／年賀状／残暑見舞い／体調報告
中島 さと子	作家、エッセイ スト、中島菊夫の妻	昭和32年4月～50年1月	14	17	息子の中島靖侃の仕事の依頼／中島菊夫の仕事の依頼／中島菊夫逝去のお知らせ／病気見舞い／電話番号変更のお知らせ／病状の報告／コンペイサンとオセンちゃんのマンガについて／仕事の近況報告／年賀状／母さと子逝去のお知らせ（靖侃）
仲田 定之助	美術評論家、実業 家	昭和45年6月	1	0	「続・明治商売往来」をほとんど書き終えた。
中野 正人	未明選集刊行会	大正14年（月不明）	0	1	未明選集の会費について

南部新一書簡リスト

名前	肩書・所属	書簡の日付	封書数	葉書数	内容の概要
中野 正治	漫画家、江雲会長	昭和15年10月～12月	0	2	漫画が遅れてすまない。8日の朝までには届ける。／目次の漫画を速達で送った。反対製版でお願いしたい。
中原 綾子	歌人	昭和2年5月～7月	1	1	原稿は明日中に送る。／短歌の掲載依頼
長岡 規矩雄	編集者	昭和11年1月～12年1月	1	2	出版の相談／年賀状
長田 武雄	編集者(小学館)、 日本児童教育振興財団	昭和48年1月～61年10月	18	25	『回想の博文館』の感想／「英語研究」など昔の学習雑誌について教えてもらったお礼／社史編集に関する資料を教えてもらったお礼／1920年代のウィークリーの件だが、大学図書館は古い資料の購入保管が難しいようだ。／『龍虎八天狗』の感想。編集者としての南部の仕事が高く評価している。／小学館の学習雑誌のバックナンバー収集協力のお礼／『日本大百科全書』編集について／『近代日本の児童文化』・「明治大正昭和絵雑誌の流れ」ほかのお礼と感想／近況報告／年賀状／暑中見舞い
永田 寛定	スペイン文学者	昭和15年5月～16年9月	0	4	来訪の日時相談／トラファルガルの訳稿ができた。受取に来てほしい。／トラファルガルの第1章と第2章を送った。小学生に読めるだろうか。／原稿を受け取った。話を伺いたので来てほしい。
長沼 依山	童話作家、口演童話家、教育者(浦和幼稚園、済美女学校)	昭和2年8月～57年8月	0	38	世界幼児教育会議の出席他、近況報告。／巖谷小波『黄金丸』の所在問い合わせに対する返事。／渡欧中の経過報告。パリ、デンマーク、オスロなど。／伝承童話集を「夢の幼な子」と題して3月には出版予定。／白井君に勧められて、東京作家クラブに入会した。／『鬼車』恵送のお礼状／年賀状／暑中見舞い／寒中見舞い
永浜 薩男	三康図書館	昭和50年12月～60年(月不明)	3	3	博文館新社の黒田千吉郎氏と渡辺庄市氏、博友社の小野慎一郎氏と高森栄次氏についての問い合わせ／「家庭雑誌」大正11年11月号の借用依頼／「譚海」の代金を受領したが、多いので一部返金する。大橋新太郎翁の伝記が博文館新社からようやく出版されることになった。／年賀状
名取 春仙	画家	大正15年4月～昭和2年12月	1	2	年賀状／喪中欠礼
滑川 道夫	教育学者、児童文化・児童文学研究者	昭和43年3月～61年7月	4	15	『回想の博文館』などの本・雑誌恵送のお礼／古書通信を拝受。「忘れられた子ども絵本」を興味深く拝読した。古書店が絵本絵雑誌収集に乗り出してくれたらすばらしいと思う。／年賀状
名和 永年	画家	大正5年4月～7年1月	3	3	原稿を送った通知／イソップ挿絵について／年賀状
新関 健之助	漫画家	大正14年7月～昭和12年1月	0	4	原稿を届ける予定の連絡／内容の問い合わせに対する回答／年賀状

# 南部新一書簡リスト

一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団

名前	肩書・所属	書簡の日付	封書数	葉書数	内容の概要
二階堂 支草(本名:栄之助)	俳人、編集者(博文館編集部)	昭和2年12月～51年9月	1	9	雑誌恵送のお礼／問い合わせへの回答(自らの略歴、「砂漠の花」の記事について、長尾豊氏のペンネーム、広田花崖氏の動静)／近況報告／白川書院に送稿した。／年賀状／高等学校退職の挨拶
西川 勉	評論家、翻訳家	大正5年1月～昭和3年1月	1	7	「幼年世界」原稿送付状／旅の便り／年賀状／転居通知
西川 満	作家、詩人、日本天后会	昭和35年1月～46年3月	7	8	精霊祭お布施拝受のお礼／本恵送のお礼／病氣見舞い／詩集の送付状／誕生日のメッセージ／年賀状
西崎 大三郎	編集者(フレーベル館)	昭和14年10月	1	0	太田庄太郎先生の手稿料の件
西村 渚山	作家、編集者(博文館)	大正9年1月～昭和3年1月	0	5	お願いした記事を待っている。／年賀状／転居通知
西本 克三	大協石油株式会社四日市製油所	昭和31年3月～5月	0	4	『日本の石油』恵送のお礼など
二反長 半	作家、児童文学作家	昭和45年9月	1	0	『鬼車』恵送のお礼
二宮 伊兵	編集者(実業之日本社)、日本童謡研究会	大正15年1月～不明	1	2	火災にあったが無事だ。／年賀状
日本児童文芸家協会		昭和38年12月～48年11月	4	3	「児童文芸」に掲載する「譚海」編集者時代の原稿執筆の依頼状／児童文化功労者表彰式の案内状と出席のお礼状／渋沢青花氏の出版祝いの会の案内状／総会の案内状／浜田廣介の葬儀・告別式のお知らせ
糠田 六福	劇作家、作家	大正14年10月～昭和12年	2	5	原稿の送付状／原稿を引き受けた。／年賀状
布川 角左衛門	編集者(栗田書店)	昭和45年9月～54年9月	3	0	『鬼車』恵送のお礼／資料のコピーのお礼／情報提供のお礼
布目 敏行	画家	大正7年3月～昭和5年6月	13	16	旅の便り／画稿の送付状／「幼年画報」「幼年世界」の画稿が遅れたことのお詫び／「幼年画報」の絵を縦に描いて送ったが、上下が空きすぎたので、横に書きなおして送る。／色などの印刷の指定／双六の切を延ばしていただきたい。／画の書きなおしに関する質問／雑誌恵送のお礼／有楽座の児童劇の感想／転居通知／年賀状
沼田 笠峰 親族	沼田笠峰:編集者、作家、教育者	昭和43年2月～50年11月	1	6	年賀状(妻ふく)／息子に頼んで押入れから笠峰の著書を出しておいた。(ふく)／笠峰三十三回忌の供物のお礼(ふく)／母逝去により年始の挨拶欠礼／沼田笠峰の手持ちの著書リスト(息子隆芳)／吉田秋光氏の遺族はわからない(隆芳妻)
沼田 笠峰(本名:藤次)	編集者(博文館)、作家、教育者	昭和2年1月～3年1月	2	2	「少女世界」の感想／宍戸都梨子さん(左行氏夫人)の紹介／原稿送付状。幼稚園等での取材の受け入れ可能／年賀状

名前	肩書・所属	書簡の日付	封書数	葉書数	内容の概要
野尻 抱影	天文学者、作家、随筆家、大佛次郎の兄	昭和2年6月～59年2月	15	90	<p>原稿送付状／星座の写真返却のお願い／『龍虎八天狗』『鬼車』、「幼年雑誌」ほか恵送のお礼。／『眉山・小波集』恵送のお礼。明治少年文学の最高峰として永久に仰ぐべき先生の日記を拝読して、硯友社初期の消息はもちろん、明治の市井の生活、芝居、寄席などの変遷についても無二の資料と驚嘆した。日記によって先生は大の勉強家であり、ダンディーであったと知った。／巖谷栄二君から上田万年さんの翻訳「おほかみ」の写真複写版を贈られた。NHKに4回出るようになった。／合本を入手して久しぶりに「小国民」を手に取り、幼年時代の思い出に我を忘れた。はじめて買ってもらったのは明治24年だった。創刊号だけが手に入らない。／小林清親展に行けなかったが、「小国民」の石版・銅版画から「文芸倶楽部」などの軽妙な挿絵まで、価値は十分だと思う。山中古洞、小島沖船など、なつかしい。尾上新兵の絵もヒットだった。／「小国民」創刊号をお借りした。「小学雑誌之大王」をうたい文句とする石井研堂主幹の気負いも感じられる。／「小国民」のことになる河童が水を得たようになるが、郷愁を分かつことができるのは貴君お一人だ。／博文館の思い出を拝読しながら、自分の研究社時代を考えさせられた。小さい出版社の草分け時代がむしゃらにがんばって、雑誌も7、8種創刊したが、1冊も手元にない。／「中学生」「女学生」当時の読者から便りをもらったりすると、巖谷さんを懐かしむ懐かしむ気持ちに似ていると思う。「少年」「少女」をやっていた小野政方(小峽)君について。／相馬御風君の仲介で「少年文庫」に書いたが、どんな話を書いたか思えていない。夢二君のはじめての挿絵だったか。「ほうふひ」の号は、「抱月」からではなく、泡鳴と前田林外と御風がつけてくれたもので、「夢幻抱影」のもじり。／ご丁寧な弔文をありがとう。弟(大佛次郎)は、前日まで「天皇の世紀」のあら探しをおとなしく聞いていた。晩年は童話を書きたいと言っていたが、すべて一切空になった。／弟も童話集を集めていて、大佛次郎文庫に収蔵されるそう。童話雑誌も考えていたらしい。／弟は「病気になったら反抗せず、友人として迎える」といつも言っていて、病院から抜け出して濱作などに呼び出していたようだった。／「少年世界」のコピーをありがとう。これは中学友だちの実話で、別に「日本少年」かに「職工の子」として家庭のことを書いた。来年東京堂から出す「日本星名集成」は1000枚の予定で、150枚を書いた。／明治42年といえば、小生は甲府で自分で小波先生に近づき、投書もしていたのだろう。大正に入って、竹貫さんの「中学世界」に「一高ロマンス」を書いた当時は、東京に戻り、弟の文章を真っ黒に添削していた。／小波先生のお伽文庫4巻、恵送のお礼。「平太郎化物日記」を拝読した。解説には「ベルリン時代に見た見世物を生かしたものらしい」と書いているが、曲解かと思う。先生はあちらの怪談集の化け物を巧みにお伽化したに相違ない。／「千山万水」をお借りできるとは楽しいことだ。アートペーパーと色刷写真とは、日本出版史の一革命であるとともに、新鮮な印刷に導いた最初のもので、それを大成したのが「欧山米水」だろう。／栄二さんお逝去のお知らせに呆然としている。終戦直後、小生が研究社に勤めて「青い鳥」を登録し、弟は栄二さんに向ける考えだったが、「赤とんぼ」が出たので、先送りとなったことなど、いろいろな思い出がある。／近況報告／体調報告／年賀状</p>

# 南部新一書簡リスト

一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団

名前	肩書・所属	書簡の日付	封書数	葉書数	内容の概要
野長瀬 正夫	詩人、作家、編集者	昭和32年8月	1	0	名作童話「青い鳥」のはしがきの原稿と原稿料のこと。検印持参してほしい。
野村 胡堂(本名:長一)	作家	昭和2年5月～3年2月	0	2	日本音楽家物語の原稿が遅れたお詫び。届ける予定の連絡。／喪中欠礼
萩原 朔太郎	詩人	大正15年4月	0	1	原稿を昨日送付した。
博英社編輯局		大正15年2月～昭和8年1月	0	3	年賀状
博文館編集部		大正9年3月	1	0	博文館宛に送られた南部氏宛の母逝去の電報を送付
土師 清二	作家	昭和2年2月～3年7月	2	1	予告原稿送付状。1回35枚見当、5、6回のみ。挿絵は美しいものをお願いしたいが、伊藤彦造風は好まない。月末には、第1回原稿を送る。／下刷り拝受。今回は大馬力で執筆している。／面白くと心がけているが、思うようにいかない。修行のつもりでやっている。
長谷川 露二	画家	昭和2年7月～13年1月	1	6	絵は3、4日のうちには描けない。過日お渡しした絵を使うか、またの機会に依頼してほしい。／年賀状
長谷川 天溪(本名:誠也)	編集者(博文館)、文芸評論家、英文学者	昭和2年12月～49年7月	0	4	年賀状
畠山 錦成	画家	昭和13年1月～9月	1	2	締め切りを延ばしてほしい。／年賀状
波多野 完治	心理学者	昭和45年9月	0	1	『鬼車』ご恵送のお礼
初山 滋	童画家、版画家	大正11年1月～昭和48年12月	1	3	年賀状
花岡 大学	児童文学作家、作家、仏教文学者	昭和45年	1	0	『鬼車』恵送のお礼
花房 不学	わかもと社員、大門友の会	昭和32年4月～61年1月	3	16	奉天にいた人から頼まれた外地在住の証明書を送るので証明してほしい。／問い合わせのレコードの曲名は思い出せない。／花房文子逝去の際の厚志のお礼／大門会の写真を送るよう手配した。／知人の住所問い合わせへの返事／転居通知／賀状
羽石 弘志	画家	昭和12年1月(もう1通は不明)	0	2	来月20日頃まで房州に居る。／年賀状
濱田 徳太郎	編集者(博文館)、日本製紙連合会	昭和17年9月	1	0	編集の助力の依頼

名前	肩書・所属	書簡の日付	封書数	葉書数	内容の概要
浜田 広介	童話作家、童謡詩人	大正14年8月～昭和49年2月	18	9	執筆を引き受けた。／「少年世界」新年号を送って欲しい。／原稿の送付予定連絡／原稿の送付状／第一報を送る。幼年向き、少年向き、少女向き、中学生向きというように年齢で分けてみるのもいいのでは。第一報はまだ少年少女に広まっていないものを物色してみた。／3編お目にかけるが、多少程度が高いかもしれない。／拙稿についての御忠言、御尤もと存じる／記憶をたどって書き上げた。「追加」として「シャルル・ブランシャール」と「スクリュウの廻転」という作品の梗概あり。スピリのアルプスの娘と鹿の足跡も推薦。／知人の塩月武彦君を紹介する。同君の童話を少女世界に掲載して欲しい。／『回想の博文館』の寄贈のお礼。「少年世界」を子どものころ愛読していた。本の中で投稿者として名前を挙げてくれたことへのお礼。／新評論からの新本と『鬼車』恵送のお礼。「児童文芸」に小生の回想録を連載することになり、巖谷小波先生のことから書き始める。／第11回久留島文化賞選考委員会でああなたのお名前が候補に挙がっていたので推したところ、スムーズに授賞が決定した。／年賀状
浜野 健三郎	作家、若素製薬株式会社(奉天)、大門会	昭和11年6月～61年1月	38	34	依頼された掛図と子どもの本を送る。／奉天での近況報告／石島先生が来奉された。／「昭和風雲録」の感想／依頼された本を送った。／旅の便り／年賀状／暑中見舞い／転居通知
林 きむ子	舞踏家、作家、社会運動家	昭和2年7月	1	0	舞踊の原稿が遅くなったが、写真をつけて送る。
林 幸平	大門友の会、わかもと社員	昭和54年4月～60年12月	3	0	南部・藤井両先生を囲む会の写真を送る。／大門会の写真を送る。
林 佐太郎	博文館	昭和3年6月	1	1	仕事の方は心配なく。「幼年クラブ」を送った。
林 重義	画家	大正15年2月～昭和12年1月	1	5	絵を預けて帰って失礼した。／「少年世界」拝受。／表紙は着手している。途中で一度持参する。／年賀状／暑中見舞い
林 唯一	画家	昭和2年3月～4年6月	1	4	挿絵の送付状。少女世界4月号を拝見したが、表紙も中も目立ってきてよくなった。口絵を三色版のつもりで描いた。／絵型と原稿を今夜調べて速達で送る。／年賀状／転居通知
坂東 恭吾	出版人(東京図書、帝国図書普及会創業)	昭和26年7月～9月	1	1	木村先生とご家族の住所のお知らせ
比嘉	桃源社	昭和45年4月～6月	3	0	高垣先生のあとがきに引用される手紙の箇所を記しておくので、重ならないような原稿をお願いしたい。／月報を送る。／雑誌借用のお礼
樋口 富麻呂	画家	昭和4年9月～5年4月	2	2	ご依頼の表紙、承知した。／「トモダチ」1月号表紙の草稿を送るので、ご意見をお願いする。(色つき下絵同封)／年賀状／転居通知
久松 潜一	国文学者(東京帝国大学)	昭和45年9月	0	1	『鬼車』恵送のお礼。愛読していたころを思い出した。

名前	肩書・所属	書簡の日付	封書数	葉書数	内容の概要
平倉 重美	スポーツニッポン新聞西部本社、千代田広告社、大門会	昭和50年5月～54年8月	1	2	大門会の案内と名簿／退職と千代田広告社入社挨拶／絵本恵送のお礼
平出 正雄	編集者(ポプラ社、河出書房新社)	昭和39年8月～56年1月	0	4	ポプラ社退職の挨拶／河出書房新社退職の挨拶／転居通知／年賀状
平野 直	作家	昭和11年1月～55年1月	12	26	盛岡に帰省中。連続ものを執筆している。／本日東京に出発する。「白萩荘」が遅れたお詫び。／10年続けた岩手映画教育協会は解散の憂き目にあつた。これから筆の生活に立ち戻る。自宅で開いている子どものための私設図書館にポプラ社の本を寄贈してほしい。／「雲母坂の仇討」の種本がお手元にあつたら、拝借させてほしい。／『ゆめ見わらし』をさ・え・ら書房から出した。来春には『いわて伝説風土記』『衣っこ、蜂っこ』を出す予定。／NETテレビの「テレビ小説」を本日事務局あてに送った。／年賀状／転居通知
平林 たい子	作家	不明	0	1	問い合わせた二階堂雨山氏の住所を回答
福島 行一	大佛次郎研究者	昭和48年8月～56年1月	4	9	雑誌拝借の受取状／資料・チラシのお礼／古書に関する情報のお礼／大佛次郎氏のことを調査中で博文館関係で知りたいことの問い合わせ／『一高ロマンス』復刻を紹介した新聞記事切抜送付／年賀状／暑中見舞い
福田 清人	作家、研究者	昭和40年5月～60年10月	9	20	巖谷小波特別賞のお祝い／『鬼車』『日本児童出版美術史』『回想の博文館』などの恵送のお礼／年賀状
福田 正夫	詩人	大正14年5月～昭和2年6月	2	2	長編はいっぺんに書くほうなので、長編3回分を送る。あと2回分は今月中に送る。来年の長編は池田義信氏と相談の上、映画にするものを書く。／「荊の門」という作品を考えており、その前に作品4回分を送る予定。／「面影の人」4回分を送る。次回の作品「荊の門」の構想。／原稿依頼を引き受ける。
藤澤 衛彦	作家、民俗学者	大正12年1月～42年12月	0	4	「日本の人づくり展」の開催案内／藤澤衛彦の通夜告別式のお知らせ／年賀状／喪中欠礼
藤田 圭雄	編集者、童謡詩人、児童文学作家、研究者	昭和45年11月～58年9月	2	6	『鬼車』恵送のお礼／鹿島鳴秋先生の資料恵送のお礼／年賀状
藤森 徳太郎	詩人	昭和2年8月	0	1	暑中見舞い。只今予備役で入営中。
文化学会出版部		大正14年10月	0	1	未明選集の×切が近づいたので入会よろしく。喧伝してほしい。
文化出版局		昭和50年5月	0	1	「銀花」に頂戴した原稿を22号に掲載させていただきたい。

名前	肩書・所属	書簡の日付	封書数	葉書数	内容の概要
文芸春秋社		昭和37年9月	1	0	吉川英治氏の手紙をお持ちだったら、内容をお知らせいただきたい。
星野 準一郎	博文館専務	大正9年5月～昭和46年9月	7	7	俳句と写真同封／『日本の映画』恵送のお礼／年賀状
星野 水裏	編集者、詩人	大正6年1月～7年1月	0	2	年賀状
星野 哲次	編集者(大日本雄弁会講談社)	昭和37年10月	0	1	吉川英治氏の手紙についての問い合わせ回答のお礼
細木原 青起	漫画家、画家	大正7年10月～11年7月	3	5	鎌倉行き、お供したい。「幼女」の黒崎氏がご一緒したいと言っている。／挿絵送付状／仕事を引き受ける。／「幼年画報」の月号を忘れたので、今一度お知らせいただきたい。／仕事が山積みなので、今回は他の方にお廻しいただきたい。／転居通知
穂積 健哲	博文館	昭和3年8月	0	1	病気お見舞い
堀 七蔵	教育者(お茶の水女子大学)	昭和31年1月?～48年1月	0	8	『日本の軽金属』恵贈のお礼／年賀状
堀 佶	編集者	昭和43年1月～56年2月	1	2	『晩年の露伴』ほか恵送のお礼／年賀状
堀 経道	博文館	昭和10年1月～48年1月	2	5	久しぶりに会えてうれしかった。日本の漂流記・探検旅行記を収集している。／喪中欠礼／年賀状
堀内 敬三	作曲家、作詞家、音楽評論家	昭和36年8月	0	2	鹿島鳴秋氏浜千鳥童謡碑の記事掲載号送付のお礼／同碑の写真のお礼
本郷 保雄	編集者(主婦之友社)	昭和7年5月～54年7月	3	9	布目虹夢氏の住所を教えてください。／本恵送のお礼／年賀状
本田 庄太郎	童画家	大正7年12月～昭和10年1月	4	12	新春第1号を拝見した。すばらしく美しい出来でうれしく思う。／原稿が遅れたお詫びと送付予定の連絡／搬入が終わったので、これから仕事にかかる。／新雑誌創刊のお祝い。あと1週間ほどで手すきになるので、埋め合わせに先の号を描いてもいいか。／3頁分を送った。／昨冬より体調を崩し、1点も創作できなかったが、順調に回復して挿絵を描き始めている。「わかもと」の仕事をまわしていただきたい。／帰京の予定連絡／旅の便り／年賀状
本多 昌明	大橋邸	大正14年4月～昭和15年4月	9	23	「少国民」への紹介依頼／旅の便り／雑誌・本のお礼／暑中見舞い／年賀状
本地 正輝	作家、劇作家、博文館	昭和2年11月～48年7月	2	3	「名作物語」を送った。「哀楽」の次は数日中にお届けする。／「哀楽」の原稿を届けた。後2回分は正月中に届ける。
毎日新聞社事業部		昭和51年7月～8月	2	0	参謀本部地図のお礼／吉川先生が書いた自宅の地図を送付する。

# 南部新一書簡リスト

一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団

名前	肩書・所属	書簡の日付	封書数	葉書数	内容の概要
前田 晁	編集者(博文館)、作家、翻訳家	昭和16年9月～17年8月	0	4	「太閤記」に関する原稿の相談
前田 重信	産経時事	消印なし	1	0	画家の友人、後藤君を紹介するのでよろしく頼む。
牧書店編集部		昭和43年4月～45年9月	3	1	『作品による日本児童文学史』第1巻の月報原稿依頼／『同』第1巻を別便で送った。／『鬼車』恵送のお礼
牧野 富太郎	植物学者	昭和13年10月	1	0	原稿をお返しするのが遅くなって恐縮している。終わりの方に書き込んだので、橋本君に見せてそれでよいかどうかお取り計らいをお願いしたい。
槇山 祐吉	「社会教育新報」発行	昭和3年79日～(年不明)11月	1	1	相談を受けた音楽家の顧問の件で、草川信を推薦している。
増村 王子	有三青少年文庫読書指導室	昭和45年3月	0	1	問い合わせの「才伽ウタエ」は有三文庫に所蔵していない。
町田 宏	原稿投稿者	大正9年4月	1	0	先日送った原稿「髯男」はどのようにお取り計らいいただいたのか。
松井 [戸+巳+火]講談社	講談社文芸図書第二出版部	昭和51年4月～52年6月	6	4	「神州天馬峡」について、解説風な思い出話をまとめてほしい。／吉川英治文庫(龍虎八天狗)の贈呈者名簿を拝受した。「謹呈 南部」の紙をはさんで送っておく。来年、吉川文庫で「少年世界」連載の「魔海の音楽師」「神風門」が出るが、エピソードをお書きいただけないか。／原稿の修正についての相談／「龍虎八天狗」の解説の再校を送るので、一読願いたい。28字分削ってしまったことを了解いただきたい。／吉川英治書簡集に来信を収録させていただいたお礼。書簡のコピーを同封するので、誤植、読み違いがあればご教示願いたい。／「龍虎八天狗」は発送した。／「魔海の音楽師」「風神門」の解説の原稿は12月15日頃にいただきたい。／「夢」の葉書の写しを拝受した。補遺として巻末に載せる。
松井 甚平	博文館	大正9年5月2日	1	1	小為替券の送付状／箱根芦ノ湖からの旅の便り
松尾 孤城	大和自治協会編集部	大正4年11月～8年3月	1	3	小波先生招聘の前の計画を変更して、すべて奈良市教育会主催にすべく交渉中。／お伽口演会を突然29日に延期せざるを得なくなった。／雑誌恵送のお礼。一昨年五月から大和新聞を辞めて、大阪の方の新聞に通勤している。
松崎 半三郎	実業家(森永製菓社長)	大正12年1月～昭和8年2月	5	2	お見舞いと読物恵送のお礼。／退院の報告／療養中の御懇情に感謝。全快の報告。内祝いの送付状。／年賀状

名前	肩書・所属	書簡の日付	封書数	葉書数	内容の概要
松美 佐雄	口演童話家	大正8年8月～昭和37年9月	7	30	いろいろな事情から退社ということになった。仕事があったらまわしてほしい。月に20日は原稿を書いて、10日はお伽講話に出かける考えた。／少女物として長着の娘を書いた。「幼年」にも続き物を書きたい。／「譚海」を拝見し、いまして材料を精選し、子どもが心から読みたいと思うようにしたらどうか。巡講で20ほどの学校で「幼年世界」を勧めてきた。／一太郎君のことは、本田の葬式で初めて会ったが、母親のことは知らない。／作品に愛着がなかったため、「少女」の合本などは戦時中に失った。安倍さんが持っているだろう。／日本童話連盟の春の会の案内状／原稿の送付状／原稿送付の予定連絡／原稿を使わなければ戻してほしい。／旅の便り／年賀状／暑中見舞い
松本 勝治	画家	昭和2年2月～12年1月	1	2	何か描かせていただけないか。／絵を置いていくので、良くなかったら描きなおす。／年賀状
丸善株式会社社史編纂室		昭和48年1月～50年1月	3	3	中西屋の児童書のことと判明したリストなどを送付／年賀状
丸善株式会社本の図書館		昭和32年1月	1	0	借りていた東京書籍商組合発行の総目録を返却した。できればお譲り頂きたい。
萬年社		昭和44年7月	1	0	照会いただいた堀江純吉氏の件で調査中。
三浦 勝治	画家	昭和45年9月～12月	0	2	個展を観に来ていただいたお礼。／絵画展の案内状
水島 南平	画家	(年不明)7月21日	1	0	ご尊父様のご逝去を悼む
水島 爾保布	画家、漫画家、作家、随筆家	大正9年1月～11年6月	0	2	年賀状／転居通知
水地 満穂	大倉陶園	昭和30年5月～59年4月	7	25	原稿が遅くなってすまない。／ろくろ形成の写真を探したがなかった。／『日本の陶磁器』を次のところに送ってほしい。／同書の正誤表を送る。／多治見市議員から同書を幹部以上求めるので、写真にメーカーの名前を入れてほしいという希望があった。／検印廃止は納得ができないので、契約書どおりにしてほしい。／佐藤さんをご紹介する／年賀状／喪中欠礼
水野 良平	東京天文台	昭和38年11月～41年8月	0	2	転居通知
水守 亀之助	編集者、作家	昭和3年2月	1	0	アイヌの伝説から思いついた小英雄を主人公にした作品を掲載してもらえないか。「少女倶楽部」に載った「涙の握手」に劣らない面白い作品になると思う。
三井 信衛	作家	大正15年1月～昭和11年1月	1	3	『シーザー』の文体と『ネルソン』のタイトルについての相談／年賀状
三井 高陽	実業家(三井船舶社長)	昭和34年2月～45年11月	1	1	小波全集のお礼

名前	肩書・所属	書簡の日付	封書数	葉書数	内容の概要
三瀬 末雄	編集者(主婦之友社・訓導生活社)	昭和9年12月～41年1月	3	10	問い合わせの作品リスト／新刊書恵送のお礼／戦後版の少年少女名作家庭文庫は重版にならなかったようだ。主婦の友社五十年史の資料を探しているが、ご記憶のことを書いていただけないか。／雑誌をご覧になるなら本社を訪ねてほしい。／退職と雑誌創刊のお知らせ／旅の報告／新聞切抜のお礼／年賀状
美作 太郎	新評論	昭和30年1月～55年1月	3	5	「日本大家論集」の海賊版についてご教示いただきありがとうございます。／芳文館の謝罪広告のコピーをありがとうございます。明治20年代の著作権思想の実態をうかがうことができた。／博文館に関する資料送付のお礼。『近代日本の児童文化』中の貴稿の一部を転記される件は、自由に使っていただいて問題ない。／寒中見舞い／年賀状
宮尾 しげを	漫画家	昭和2年1月～45年1月	1	4	今度は早くやる。前の原稿を返送してほしい。／続き掲載の原稿を送ってほしい。／年賀状
三宅 やす子	作家、評論家	昭和2年10月～11月	4	0	少女世界に書かせていただきたい。／少女小説を思いついたが、掲載していただける場合は季節はいつ頃になるか教えてほしい。／5、6回程度のものお届けした。
宮坂 利助	桐花会、日本放送電株式会社	大正15年2月～49年7月	6	23	19日午後に木村先生宅で扶桑社第1回茶話会を催す。／一度桐花会を開催したい。／紹介状をありがとう。／国会図書館三宅坂分室の高橋ツネ氏を紹介するのでお尋ね願いたい。／九月末に尾崎さんの書協で奥様をお招きして集まりたい。／“Marvels of the World”は学校にはない。三康図書館にはあるかもしれない。／請われて女子大付属図書館に勤務している。／『日本のプラスチック』ほかの本が欠けているので、いただければ助かる。／雑誌恵送のお礼／年賀状／急逝のお知らせ(妻千代)
宮崎 芳彦	編集者(ほるぷ出版児童編集部)、児童文学研究者(白百合女子大学)	昭和48年7月～61年1月	13	18	資料図書の寄贈・寄託について／『金の船』=『金の星』復刻の解説書への執筆依頼／問い合わせの吉田小五郎の本についての情報。／同人誌恵送のお礼／「童話作家としての斉藤佐次郎」をまとめている。／斉藤佐次郎論を一応書いたが、新資料が出てきて書きなおさなければならない。いずれ南部さんについても書かせていただきたい。／ほるぷ退職と白百合女子大学に勤務することになったお知らせ。／「極光」の誌代拝受。／児童文学学会で児童文学事典を作ることになった。南部さんにはぜひ編集顧問になっていただきたい。／明治名作集の編集会議開催の連絡／資料拝借のお願い／転居と改名のお知らせ／年賀状／暑中見舞い
宮本 正太郎	京都大学理学部 花山天文台	昭和37年7月～39年4月	2	1	『星と宇宙』ほか恵送のお礼／太陽望遠鏡からの写真は天文台の松井氏が引き受けてくれたので、直接フィルムを送る。
武藤 山治	時事新報社	昭和6年10月～8年1月	1	3	年賀状
村岡 花子	作家、翻訳家	昭和35年7月14日	0	1	『日本の製紙』ほか恵送のお礼

南部新一書簡リスト

名前	肩書・所属	書簡の日付	封書数	葉書数	内容の概要
村松 定孝	近代文学研究者	昭和48年7月16日	0	1	『回想の博文館』恵送のお礼
室生 犀星	詩人、作家	昭和2年5月～7月	2	0	原稿を送った。次の号は何月かわかったら、知らせてほしい。
室野 素月	画家	昭和11年9月～11月	0	3	悪いときには書き変えるので、稽古させてほしい。／「幼年画報」4月号の構図を知らせてほしい。／期日までには必ずお届けする。
百田 宗治	詩人	大正14年7月～昭和2年6月	1	6	作品の送付状。原稿の見本として、詩ものがたりを試作してみた。／稿料は指定通りで結構だ。／年賀状／転居通知
森 暁紅	編集者(博文館)、 演芸記者	大正11年1月～昭和10年1月	0	5	仕事について／年賀状／転居通知
森 銑三	歴史学者・書誌学者	昭和45年9月～54年8月	12	20	『鬼車』『龍虎八天狗』などの恵送のお礼。／小波先生の『春若丸』拝受のお礼。数十年前に読んだ本を手にしてなつかしい。小波先生の口演童話を聞いたが、親しくお話しする機会はなかった。／呉文聡の『おほかみ』が呉家から東大図書館に寄贈されたが、お持ちだろうか。／珍本新御伽草子他の資料貸与のお礼／三康図書館での掃苔会で講話をお願いしたい。／年賀状／転居通知
森川 鉉二(号:紫 気)	小波門下生、少年 図書館	昭和30年1月～49年12月	4	41	移転の準備で体調を崩した。／小波先生の銅像建設について／私が徳川さんの文庫に寄贈した「少年世界」第5巻は表紙や口絵がないので、上野の図書館を利用してほしい。／巖谷小波先生の文福茶釜の碑が建立されたことは喜ばしい。／大日本女学会発行の講義録は見たことがなかった。／面談の連絡／小波先生の童話集ほかの恵送のお礼／博文館編輯室の話を伺いたい。／退職の挨拶状／久留島武彦先生逝去に驚いている。／内山憲尚氏を訪ねて小波先生のことを話してきた。／年賀状／暑中見舞い／紫気の血縁者に消息を問い合わせている(兄の孫 美添威人)／紫気の家系と本籍について(同前)
森下 雨村(本名: 岩太郎)	編集者(博文館)、 作家、翻訳家	大正9年3月	2	0	譚海の原稿についての問い合わせ
森田 たま	随筆家	昭和45年9月	0	1	『鬼車』恵送のお礼
森永 二郎	画家	大正6年1月～14年11月	0	2	画稿が遅れて申し訳ない。昨日武田様にお渡しした。／口絵は期日までにお送りする。
森永製菓		昭和13年1月～52年4月	4	2	日独伊親善図書交換式の案内状／森永商店時代の製品広告を発見されたとのことで、ぜひ記録写真を撮らせてほしい。／年賀状
八木 福次郎	日本古書通信社	昭和43年9月～61年1月	1	5	出版記念会のお礼状／病状報告／年賀状
安 泰	童画家、装幀家	昭和11年1月～12年1月	0	2	年賀状

# 南部新一書簡リスト

一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団

名前	肩書・所属	書簡の日付	封書数	葉書数	内容の概要
安井 小弥太	画家	昭和9年12月～13年1月	0	5	山城劉松氏の住所連絡／年賀状／喪中欠礼
八住 利雄	脚本家	昭和15年5月	2	0	翻訳出版するにふさわしいと思う作品の推薦。トルストイほか。
矢野 晃一	編集者(講談社)	昭和38年2月～56年1月	9	36	法要のお知らせ／雑誌「象文」の南部氏の原稿「病床の小波先生」掲載号が見つかったので御覧に入れる。／指摘していただいた年譜の誤りについての説明。／お申越しの「銀河まつり」を全集の短編集に収録することになった。／吉川英治書簡集刊行のため、書簡借用のお願い。／吉川英治文学展のために「龍虎八天狗」の原稿ほかの資料借用のお願い。／久保田氏と田中氏の住所を教えてもらったお礼／吉川英治の関する記事切抜や展示目録、図録、本、雑誌等のお礼状／問い合わせた雑誌は休刊中。／本の送付状／年賀状
矢野 文夫	編集者(「婦女界」編集部)	消印なし	1	0	画家の長谷川露二氏の紹介状送付状
八幡 白帆	画家	大正6年11月～昭和12年1月	1	1	武田様に画題を選定していただいてすぐに画くので、3、4日猶予をいただきたい。／年賀状
山内 金三郎	編集者(主婦之友社)	昭和7年9月～12年7月	19	23	私がデザインした蔵書票を送る。／南部氏の入社で相談したが、人事部が客員として編集を手伝っていただきたいと言っている。力不足で申し訳ない。／原稿を少し書き変えてほしいところがあるので来社願いたい。／遊戯の原稿を急ぐので今夜中をお願いしたい。／別冊「お子さん画報」の見本を至急届けてほしい。／校正の送付状／懸賞の絵本ができたので送る。／表紙の画家は私が見てよいと思ったら石川さんに推薦するので、いつでも拝見する。／紙芝居の紙を同封のものに決定した。／吉岡氏の「漫画長靴小僧」を「コドモノトモ」9月号に掲載したいので、吉岡氏の了解を得てほしい。／子供のページの編集についてプランができれば見せてほしい。／年賀状
山岸 外史	評論家	昭和16年5月	0	1	今井田氏に面会して、イソップ原著について相談した。期日に仕上がるよう努力する。
山口 歆	編集者(講談社)、山口将吉郎の三男	昭和49年10月～51年3月	0	1	「少年世界」のバックナンバーを見たいので、揃って持っているところを紹介してほしい。コピーを同封した山口将吉郎の口絵は「少年世界」掲載のものではないか。
山口 将吉郎	画家	昭和5年7月～51年3月	1	6	画家の勝山重英氏の紹介状／少年雑誌をお作りになるそうだが、少年向けならば年来の厚情に酬いることができると思う。／転居通知
山崎 朋子	ノンフィクション作家、女性史研究家	昭和50年3月	0	1	資料恵送のお礼

# 南部新一書簡リスト

一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団

名前	肩書・所属	書簡の日付	封書数	葉書数	内容の概要
山崎 宗晴	森永製菓	昭和8年6月～13年7月	2	1	「キャラメル大将」はおもしろい案だ。お目にかかって相談したい。／わかもと本舗も近く菓子の製造販売をするとのことだが、ご存じあれば内容等を教えてほしい。
山高 五郎	日本船舶工業標準協会	昭和30年2月～39年6月	7	12	『日本の造船』の内容予定送付状／原稿送付状／仕事が遅れて申し訳ない。挿絵は月末まではかかると思う。／著書を読んだ読者から誤りと指摘された箇所について調査した結果を送付する。／校正内容の連絡／捕鯨船について／年賀状／移転通知
山田 千之	詩人	昭和43年4月～44年1月	0	2	坂口利三郎氏、本田氏、伊藤孝氏の消息について
山田 みのる	漫画家	大正8年1月～9年1月	0	6	ご依頼の挿絵は2、3日猶予が欲しい。／明日から大角力が始まり、毎日出張しなければならぬので、今回だけはお断りさせていただきたい。／年賀状
山手 樹一郎(本名:井口 長次)	作家、編集者(小学新報社、博文館編集部)	大正8年10月～昭和61年1月	16	38	作品掲載のお礼／作品の送付状／自作について／原稿遅延の連絡／火事見舞い／南部への励まし／原稿依頼／内務省の会の報告／南部の作品の得点／「幼年画報」の休刊／年賀状／喪中葉書
山内 秋生	童話作家、評論家	大正8年12月～昭和61年1月	21	34	「空に浮く城」の原稿を送った。これで完結だ。／雑誌恵送のお礼／小波先生の墓参の日時のお知らせ／鹿島鳴秋の没年月を教えてください。／宝文館から出る『児童文学辞典』に出すので、「少年世界」「幼年世界」「少女世界」の創刊年月を教えてください。10月からは週3日、文果社で出版の仕事をする。／出版企画を見てほしい。／小波先生の建碑の会について／小波顕彰会について／鳴秋の童話碑建立の呼びかけについて／森川君を追憶する機会をつくろう。『児童文学への招待』のあなたの一文をなつかしく拝読した。お互い生きた文化財というところだ。／年賀状／喪中欠礼／震災見舞い
山内 義雄	フランス文学者	昭和45年9月	0	1	『鬼車』恵送のお礼
山本 和夫	作家、詩人	昭和39年10月～60年6月	8	20	『児童文学へのアプローチ』は構想では第2巻のつもりで、第1巻は小波を主にした明治の児童文学をまとめたと思っている。／小波の本2冊、拝受のお礼。私たちの「トナカイ」は近く「太陽の子」と改題して出発する。「小波先生といっしょに」という題で書いていただけないか。／『春若丸』『鬼車』拝受のお礼。／年賀状／転居通知
山本 藤枝	作家	昭和57年3月	1	0	児文芸の功労賞のお祝いのお礼
山本 平八郎	改造社	昭和18年6月	0	1	ご配慮のお礼
行友 季風	作家、劇作家	昭和3年6月	1	0	原稿が遅れたお詫び。×切猶予のお願い。

名前	肩書・所属	書簡の日付	封書数	葉書数	内容の概要
横田地 巴	博文館出版部	不明～昭和43年3月	2	2	松原先生のことは知る範囲はお答えするのでご来訪の節は連絡いただきたい。 ／死亡通知
横山 寿篤	編集者・出版人 (キンノツノ社社長、「金の船」創刊)、作家	大正14年12月	0	1	原稿は採用について
横山 彦芳	画家	昭和10年1月～56年8月	34	36	長いお勤めご苦労様／先日送った金太郎の絵について／紅白梅の絵を送った。 ／問い合わせの画歴について／久留島文化賞受賞のお祝い／夢二展の画集恵送のお礼／近況報告／体調報告／病気見舞い／年賀状／暑中見舞い／転居通知
横山 祐吉	財団法人社会教育協会、大日本聯合青年団	昭和3年1月～11年1月	1	5	訪問日時相談／「少年世界」「幼年画報」恵送のお礼／年賀状
吉川 英治	作家	大正15年4月～昭和36年1月	16	11	東美倶楽部目録をありがとう。八天狗の原稿を急ぐよう心がける。少女の起稿についても、4月号からと覚悟している。／原稿を渡せなくて申し訳ない。キングに14、5枚書き足すことができ、予定を狂わせてしまった。今日こそ執筆にかかる。おたずねの件だが、白石朝太郎ではないか。／小波先生がお病気の由、3、4枚ほどで小波先生の枕辺の随想をお書きいただけないだろうか。／斎藤氏の挿絵、原画では上々と思う。彦造氏、山口氏のものと同色ない。／八天狗の五百枝氏の挿絵は、非常に会心だ。／原稿執筆の予定連絡／年賀状／暑中見舞い
吉田 甲子太郎	児童文学者、翻訳家	昭和11年1月～12年1月	0	2	年賀状
吉田 国夫	商工省、金属鉱物探鉱促進事業団	昭和43年1月	0	1	年賀状
吉田 健次郎	岩手放送、ラジオ岩手	消印なし	4	0	『巖谷小波集』ほかの本恵送のお礼状。仕事の近況報告／本の送り状
吉田 秋光	画家	大正5年8月～12年1月	4	14	旅行中のため、せつかくの依頼なのに申し訳ない。／表紙と口絵の件、承知した。／「幼年画報」の絵を送った。／「幼年画報」7月号の表紙絵「蛭狩」の色や構図の相談／文展の用意ができておらず、余裕がないので、申し訳ないが原稿を返送する。／小波のお伽本の挿絵についての相談／遅くなったがお伽口絵を送った。／展覧会の案内。「少女世界」にも使ってもらえるように画いてみた。／帝展入選の祝辞のお礼／年賀状／喪中葉書
吉田 晴風	尺八奏者、作曲家	昭和24年12月～25年1月	0	2	晴風舎の事業について／年賀状

# 南部新一書簡リスト

一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団

名前	肩書・所属	書簡の日付	封書数	葉書数	内容の概要
吉野 源三郎	編集者、児童文学者、評論家	昭和46年1月	0	1	『鬼車』恵送のお礼
吉村 忠夫	画家	昭和12年1月～16年1月	0	2	聖戦画製作のため北支戦線見学に行っていたが、帰国した。／年賀状
吉屋 信子	作家	大正7年9月～48年7月	7	6	今度「少女世界」を編輯される由、4月号には思い出深い故郷を訪れる気持ちでよろこんで書く。／「紅椿のお羽織」を送った。現在長編小説の仕事で忙しいので、しばらくは原稿をお引き受けできないが、お許しいただきたい。／2月号の「残された羊」は自分でも気に入った。口絵の「いろは組子供遊」は大好きで、切り取って大切にしている。雑誌がきたなく思われるというのは、今の時勢で致し方ないことのような気がする。／「小さい女王様」というオランダの女王の幼時の逸話を7枚ほどで書いたので送る。「幼年世界」にでも「譚海」にでも使っていただけたら幸せだ。／エチス・カヴェル嬢のお話はぎこちない書き方で申し訳ない。原稿が不適當なら、取りのけていただいてもかまわない。／夜5時以降は寄宿舎にいますので、おついでに折にお立ち寄り願いたい。／羊のおとぎばなしを2月号の分として書いてみた。／『野薔薇の約束』という童話集を出版してもらったが、中に「幼年世界」に出したのも載っている。前もってお許し願うはずだったが、失礼してしまった。／原稿送付状／童話のコピーのお礼
米内 穂豊	画家	昭和10年1月～56年1月	4	23	絵に関する問い合わせの回答／「釈迦」を送ってもらったお礼。大石哲路氏の挿絵は参考になる。／写経についての参考書を送ってもらったお礼／近況報告／年賀状／喪中葉書／米内穂豊の略歴(とく)
米山 露花	作家	大正15年1月	0	1	約束の映画小説は15日頃に届ける。昨年渡した原稿の採否を教えてください。
若山 貴志子	歌人	昭和2年1月～12月	1	3	お申越しの趣、承知した。／歌だけをお届けする。文章はあとで送る。／先般送った「K先生と私」が送っていただいた「少女世界」5月号に載っていないが、どうい都合か教えてください。／「少女世界」恵送のお礼
若山 牧水	歌人	昭和1年12月	0	1	原稿を届ける予定連絡
涌波 達雄	わかもと製薬	昭和50年5月～6月	2	0	会合出席のお礼。蒔絵制作に励んでいるなどの近況報告
渡辺 勝正	森永製菓株式会社デザインルーム	昭和48年9月～49年1月	1	1	文痴庵コレクションについての原稿のコピーを送る。／年賀状
渡辺 霞亭	作家	大正5年1月～15年4月	2	21	阿波十郎兵衛研究のため、徳島に行ってきた。「仏佐吉」の次には、華山先生の幼時が適当だと思う。／「幼年世界」の「荒木又衛門」の画工への画組注文は、当方で作った方がよければ次回からそうする。妖怪退治などを取り入れてもよいか。／次は女性の伝記の面白いものを提供する。／ご依頼の少年小説は時代物か、当世物か、知らせてほしい。／原稿の送付状／原稿を送る予定の連絡／「大阪今日新聞」を創刊したことの宣伝／年賀状

名前	肩書・所属	書簡の日付	封書数	葉書数	内容の概要
和田 古江	編集者(東京社)	大正2年8月～6年1月	0	2	転居通知／年賀状

- ・妻の代筆、遺族からの死亡通知等、家族などの関係者の書簡も含まれている。
- ・氏名は新字体に統一した。

◆ 本研究は平成23～25年度JSPS科研費・基盤研究(C)「明治・大正・昭和前期における児童出版文化史の研究—元博文館編集者の書簡調査から」(研究課題番号:23520275, 代表者:土居安子)の助成を受けて行われた。作成:小松聡子